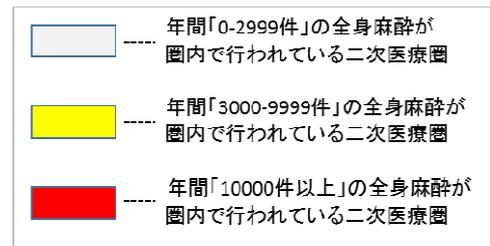
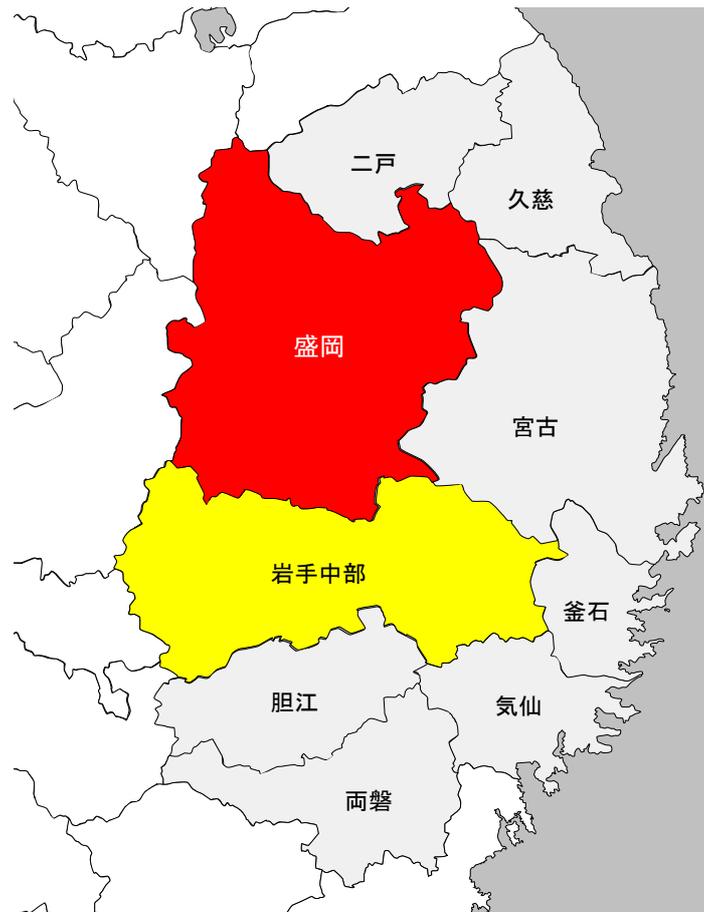


3. 岩手県



目次

岩手県	3	-	3
1. 盛岡医療圏	3	-	9
2. 岩手中部医療圏	3	-	15
3. 胆江医療圏	3	-	21
4. 両磐医療圏	3	-	27
5. 気仙医療圏	3	-	33
6. 釜石医療圏	3	-	39
7. 宮古医療圏	3	-	45
8. 久慈医療圏	3	-	51
9. 二戸医療圏	3	-	57

岩手県

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は139,911人(-10%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は195人(9%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は192人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は20%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

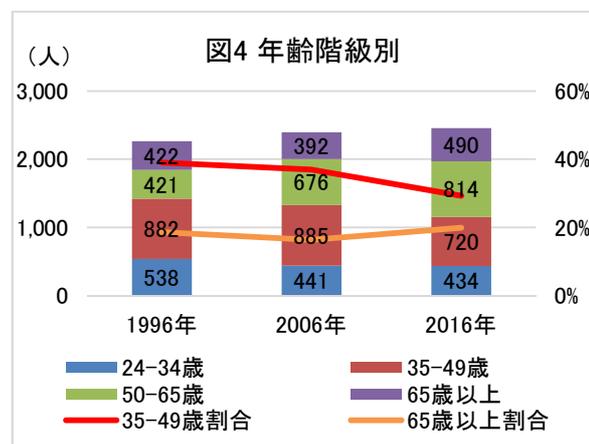
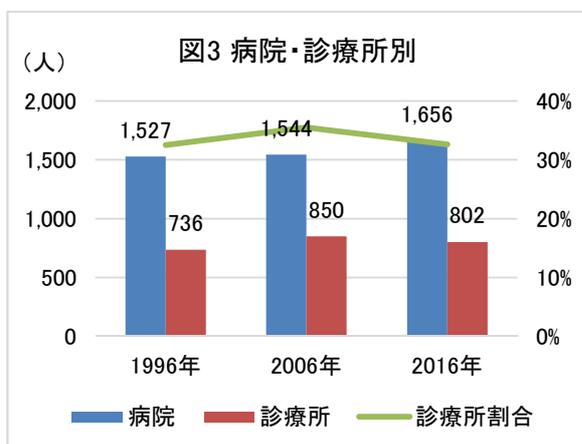
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて35人(2%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に160人(72%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて129人(8%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に66人(9%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は33%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は162人(-18%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて68人(16%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年20%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

岩手県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,419,505	1,385,041	1,279,594	-139,911	-10%	-34,464	-2%	-105,447	-8%	
総医師数	2,392	2,569	2,631	239	10%	177	7%	62	2%	
人口10万対	168.5	185.5	205.6	37.1	22%	17.0	10%	20.1	11%	
医療施設勤務医師数	2,263	2,394	2,458	195	9%	131	6%	64	3%	
人口10万対	159.4	172.8	192.1	32.7	20%	13.4	8%	19.2	11%	
男性医師数	2,042	2,101	2,077	35	2%	59	3%	-24	-1%	
人口10万対	143.9	151.7	162.3	18.5	13%	7.8	5%	10.6	7%	
女性医師数	221	293	381	160	72%	72	33%	88	30%	
人口10万対	15.6	21.2	29.8	14.2	91%	5.6	36%	8.6	41%	
病院勤務医師数	1,527	1,544	1,656	129	8%	17	1%	112	7%	
人口10万対	107.6	111.5	129.4	21.8	20%	3.9	4%	17.9	16%	
診療所勤務医師数	736	850	802	66	9%	114	15%	-48	-6%	
人口10万対	51.8	61.4	62.7	10.8	21%	9.5	18%	1.3	2%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.7	49.5	51.3	3.6	7%	1.8	4%	1.8	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	538	441	434	-104	-19%	-97	-18%	-7	-2%
	35-49歳	882	885	720	-162	-18%	3	0%	-165	-19%
	50-64歳	421	676	814	393	93%	255	61%	138	20%
	65歳以上	422	392	490	68	16%	-30	-7%	98	25%
	75歳以上(再掲)	91	185	144	53	58%	94	103%	-41	-22%
男性	24-34歳	446	323	320	-126	-28%	-123	-28%	-3	-1%
	35-49歳	812	793	570	-242	-30%	-19	-2%	-223	-28%
	50-64歳	390	620	738	348	89%	230	59%	118	19%
	65歳以上	394	365	449	55	14%	-29	-7%	84	23%
	75歳以上(再掲)	85	172	133	48	56%	87	102%	-39	-23%
女性	24-34歳	92	118	114	22	24%	26	28%	-4	-3%
	35-49歳	70	92	150	80	114%	22	31%	58	63%
	50-64歳	31	56	76	45	145%	25	81%	20	36%
	65歳以上	28	27	41	13	46%	-1	-4%	14	52%
	75歳以上(再掲)	6	13	11	5	83%	7	117%	-2	-15%
病院	24-34歳	527	436	429	-98	-19%	-91	-17%	-7	-2%
	35-49歳	678	669	601	-77	-11%	-9	-1%	-68	-10%
	50-64歳	198	314	439	241	122%	116	59%	125	40%
	65歳以上	124	125	187	63	51%	1	1%	62	50%
	75歳以上(再掲)	23	60	44	21	91%	37	161%	-16	-27%
診療所	24-34歳	11	5	5	-6	-55%	-6	-55%	0	0%
	35-49歳	204	216	119	-85	-42%	12	6%	-97	-45%
	50-64歳	223	362	375	152	68%	139	62%	13	4%
	65歳以上	298	267	303	5	2%	-31	-10%	36	13%
	75歳以上(再掲)	68	125	100	32	47%	57	84%	-25	-20%
	85歳以上(再掲)	8	12	28	20	250%	4	50%	16	133%

岩手県

＜医師数の推移＞

岩手県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	2,263	159.4	47	2,394	172.8	46	2,458	192.1	45	195	9%	32.7	20%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	951	67.0	48	893	64.5	45	910	71.1	44	-41	-4%	4.1	6%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	144	10.1	48	128	9.2	45	138	10.8	45	-6	-4%	0.6	6%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	100	7.0	48	115	8.3	47	125	9.8	45	25	25%	2.7	39%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	266	18.7	48	252	18.2	50	248	19.4	51	-18	-7%	0.6	3%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	4	0.3	47	4	0.3	46	5	0.4	46	1	25%	0.1	39%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	22	1.5	50	23	1.7	48	21	1.6	45	-1	-5%	0.1	6%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	85	6.0	56	81	5.8	54	82	6.4	52	-3	-4%	0.4	7%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	154	10.8	45	159	11.5	43	158	12.3	42	4	3%	1.5	14%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	11	0.8	48	18	1.3	49	20	1.6	47	9	82%	0.8	102%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	63	4.4	47	65	4.7	46	63	4.9	44	0	0%	0.5	11%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	94	6.6	45	104	7.5	45	104	8.1	45	10	11%	1.5	23%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	76	5.4	45	73	5.3	45	63	4.9	42	-13	-17%	-0.4	-8%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	62	4.4	51	78	5.6	54	80	6.3	53	18	29%	1.9	43%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	129	9.1	48	109	7.9	47	111	8.7	46	-18	-14%	-0.4	-5%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	12	0.8	52	13	0.9	46	12	0.9	43	0	0%	0.1	11%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	25	1.8	45	34	2.5	45	43	3.4	45	18	72%	1.6	91%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	34	2.4	45	43	3.1	45	61	4.8	45	27	79%	2.4	99%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				30	2.2	56	19	1.5	45	-11	-37%	-0.7	-31%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				135	9.7	48	145	11.3	48	145	7%	1.6	16%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	31	2.2	45	37	2.7	45	50	3.9	44	19	61%	1.7	79%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

岩手県

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は274,265人(-21%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は21人(1%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は247人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

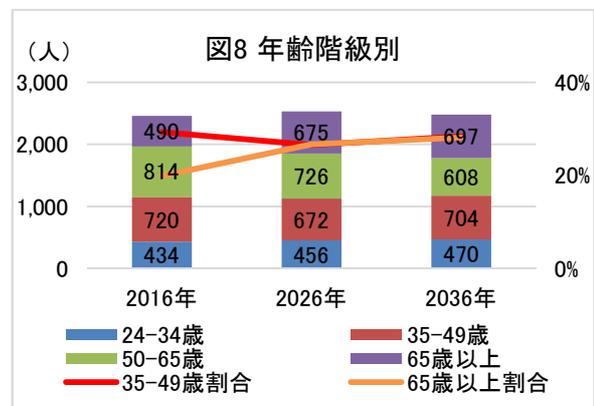
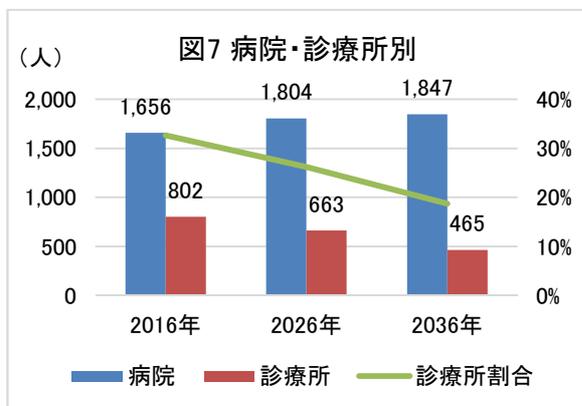
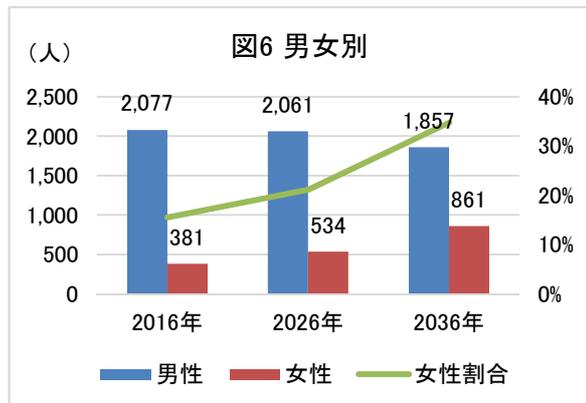
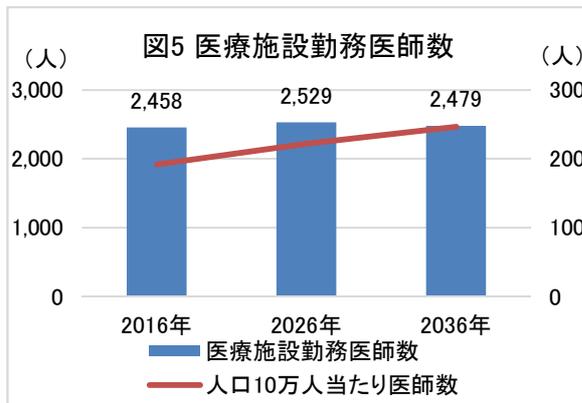
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて220人(-11%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に480人(126%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は35%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて191人(12%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に337人(-42%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は19%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は16人(-2%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて207人(42%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



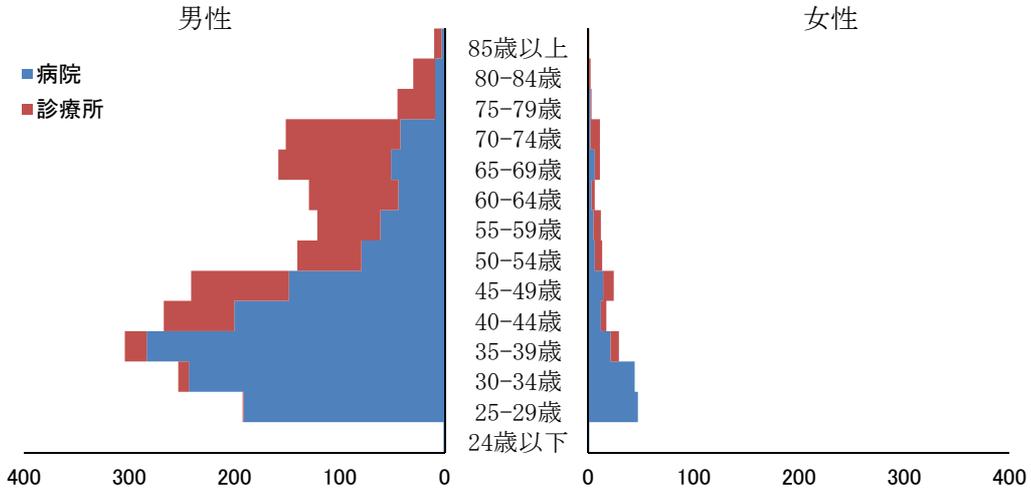
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

岩手県

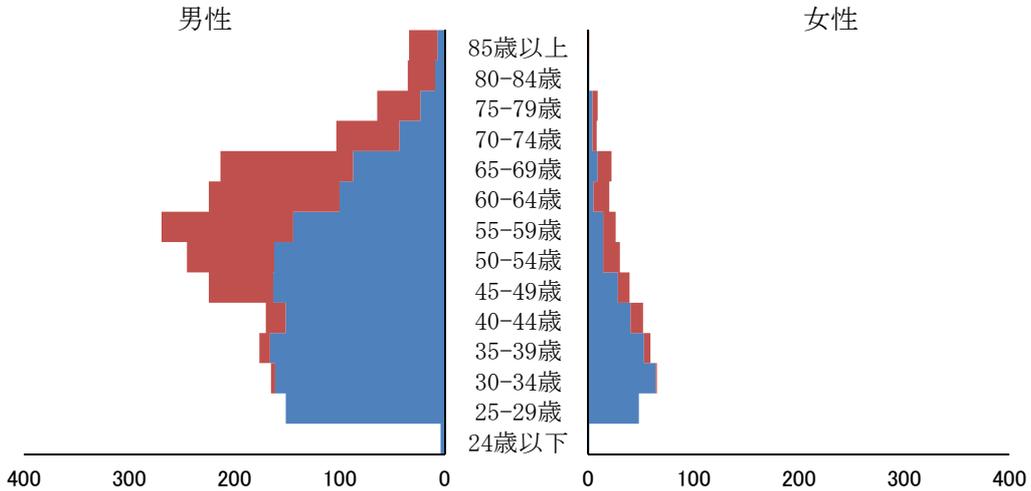
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

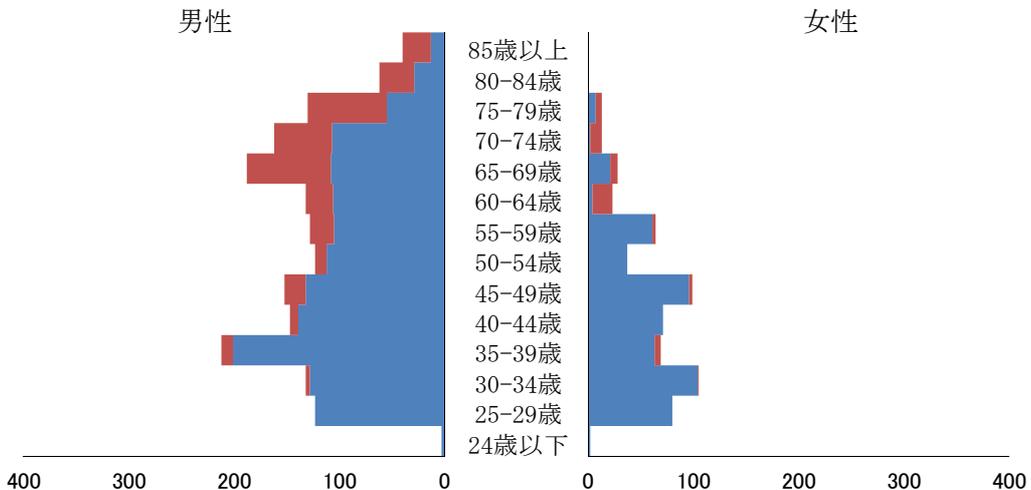
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

岩手県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,279,594	1,139,825	1,005,329	-274,265	-21%	-139,769	-11%	-134,496	-12%	
医療施設勤務医師数	2,458	2,529	2,479	21	1%	71	3%	-50	-2%	
人口10万対	192.1	221.9	246.6	54.5	28%	29.8	16%	24.7	11%	
男性医師数	2,077	2,061	1,857	-220	-11%	-16	-1%	-204	-10%	
人口10万対	162.3	180.8	184.7	22.4	14%	18.5	11%	3.9	2%	
女性医師数	381	534	861	480	126%	153	40%	327	61%	
人口10万対	29.8	46.8	85.6	55.9	188%	17.1	57%	38.8	83%	
病院勤務医師数	1,656	1,804	1,847	191	12%	148	9%	43	2%	
人口10万対	129.4	158.3	183.7	54.3	42%	28.9	22%	25.5	16%	
診療所勤務医師数	802	663	465	-337	-42%	-139	-17%	-198	-30%	
人口10万対	62.7	58.2	46.3	-16.4	-26%	-4.5	-7%	-11.9	-20%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	434	456	470	36	8%	22	5%	14	3%
	35-49歳	720	672	704	-16	-2%	-48	-7%	32	5%
	50-64歳	814	726	608	-206	-25%	-88	-11%	-118	-16%
	65歳以上	490	675	697	207	42%	185	38%	22	3%
	75歳以上(再掲)	144	222	270	126	88%	78	54%	48	22%
男性	24-34歳	320	335	257	-63	-20%	15	5%	-78	-23%
	35-49歳	570	504	537	-33	-6%	-66	-12%	33	7%
	50-64歳	738	602	443	-295	-40%	-136	-18%	-159	-26%
	65歳以上	449	620	620	171	38%	171	38%	0	0%
	75歳以上(再掲)	133	203	253	120	90%	70	53%	50	25%
女性	24-34歳	114	119	187	73	64%	5	4%	68	57%
	35-49歳	150	236	356	206	137%	86	57%	120	51%
	50-64歳	76	131	254	178	234%	55	72%	123	94%
	65歳以上	41	48	64	23	56%	7	17%	16	33%
	75歳以上(再掲)	11	17	13	2	18%	6	55%	-4	-24%
病院	24-34歳	429	451	465	36	8%	22	5%	14	3%
	35-49歳	601	579	602	1	0%	-22	-4%	23	4%
	50-64歳	439	483	430	-9	-2%	44	10%	-53	-11%
	65歳以上	187	291	350	163	87%	104	56%	59	20%
	75歳以上(再掲)	44	79	107	63	143%	35	80%	28	35%
診療所	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	119	61	62	-57	-48%	-58	-49%	1	2%
	50-64歳	375	236	96	-279	-74%	-139	-37%	-140	-59%
	65歳以上	303	361	302	-1	0%	58	19%	-59	-16%
	75歳以上(再掲)	100	131	145	45	45%	31	31%	14	11%
	85歳以上(再掲)	28	25	30	2	7%	-3	-11%	5	20%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

盛岡医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は1,308人(0%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は170人(15%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は274人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は15%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

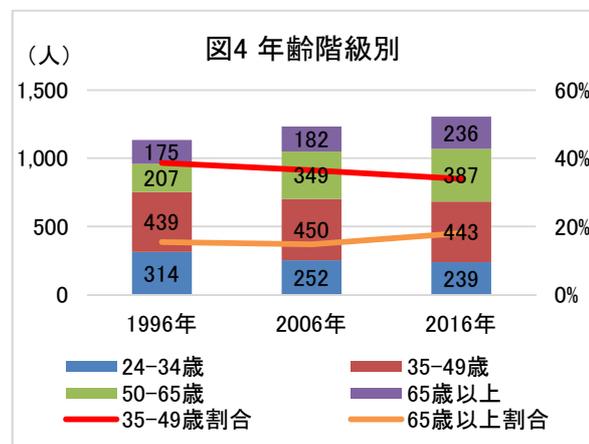
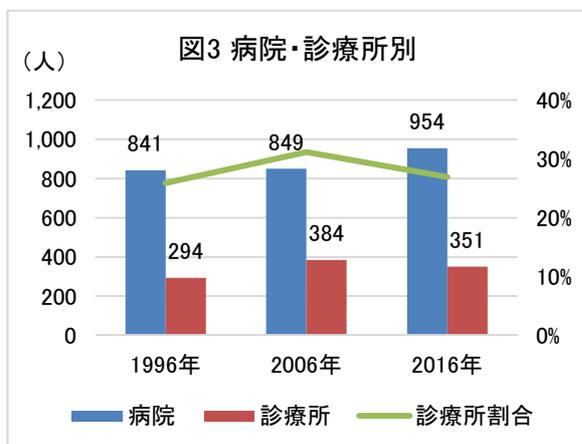
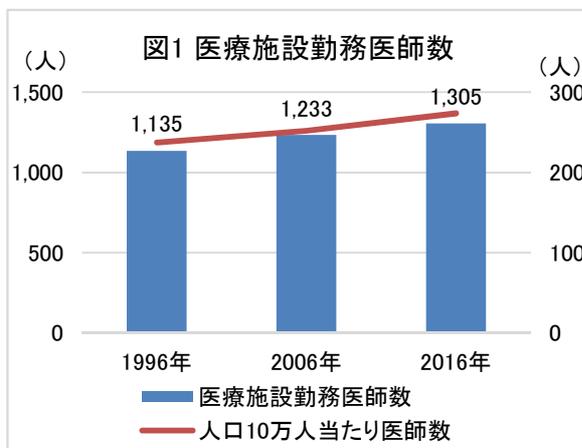
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて69人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に101人(76%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて113人(13%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に57人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は27%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は4人(1%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて61人(35%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年15%、2016年18%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

盛岡医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	478,066	489,492	476,758	-1,308	0%	11,426	2%	-12,734	-3%	
総医師数	1,224	1,350	1,422	198	16%	126	10%	72	5%	
人口10万対	256.0	275.8	298.3	42.2	16%	19.8	8%	22.5	8%	
医療施設勤務医師数	1,135	1,233	1,305	170	15%	98	9%	72	6%	
人口10万対	237.4	251.9	273.7	36.3	15%	14.5	6%	21.8	9%	
男性医師数	1,002	1,047	1,071	69	7%	45	4%	24	2%	
人口10万対	209.6	213.9	224.6	15.0	7%	4.3	2%	10.7	5%	
女性医師数	133	186	234	101	76%	53	40%	48	26%	
人口10万対	27.8	38.0	49.1	21.3	76%	10.2	37%	11.1	29%	
病院勤務医師数	841	849	954	113	13%	8	1%	105	12%	
人口10万対	175.9	173.4	200.1	24.2	14%	-2.5	-1%	26.7	15%	
診療所勤務医師数	294	384	351	57	19%	90	31%	-33	-9%	
人口10万対	61.5	78.4	73.6	12.1	20%	17.0	28%	-4.8	-6%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.1	48.8	50.0	3.9	8%	2.7	6%	1.2	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	314	252	239	-75	-24%	-62	-20%	-13	-5%
	35-49歳	439	450	443	4	1%	11	3%	-7	-2%
	50-64歳	207	349	387	180	87%	142	69%	38	11%
	65歳以上	175	182	236	61	35%	7	4%	54	30%
	75歳以上(再掲)	41	88	57	16	39%	47	115%	-31	-35%
男性	24-34歳	247	172	165	-82	-33%	-75	-30%	-7	-4%
	35-49歳	398	389	346	-52	-13%	-9	-2%	-43	-11%
	50-64歳	192	314	348	156	81%	122	64%	34	11%
	65歳以上	165	172	212	47	28%	7	4%	40	23%
	75歳以上(再掲)	39	83	53	14	36%	44	113%	-30	-36%
女性	24-34歳	67	80	74	7	10%	13	19%	-6	-8%
	35-49歳	41	61	97	56	137%	20	49%	36	59%
	50-64歳	15	35	39	24	160%	20	133%	4	11%
	65歳以上	10	10	24	14	140%	0	0%	14	140%
	75歳以上(再掲)	2	5	4	2	100%	3	150%	-1	-20%
病院	24-34歳	311	249	237	-74	-24%	-62	-20%	-12	-5%
	35-49歳	358	355	392	34	9%	-3	-1%	37	10%
	50-64歳	109	177	225	116	106%	68	62%	48	27%
	65歳以上	63	68	100	37	59%	5	8%	32	47%
	75歳以上(再掲)	10	34	25	15	150%	24	240%	-9	-26%
診療所	24-34歳	3	3	2	-1	-33%	0	0%	-1	-33%
	35-49歳	81	95	51	-30	-37%	14	17%	-44	-46%
	50-64歳	98	172	162	64	65%	74	76%	-10	-6%
	65歳以上	112	114	136	24	21%	2	2%	22	19%
	75歳以上(再掲)	31	54	32	1	3%	23	74%	-22	-41%
	85歳以上(再掲)	1	10	9	8	800%	9	900%	-1	-10%

盛岡医療圏

＜医師数の推移＞

盛岡医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、眼科、泌尿器科、麻酔科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、心臓血管外科、皮膚科、リハビリテーション科、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、形成外科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,135	237.4	57	1,233	251.9	56	1,305	273.7	54	170	15%	36.3	15%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	464	97.1	56	425	86.8	53	452	94.8	52	-12	-3%	-2.3	-2%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	78	16.3	62	69	14.1	56	78	16.4	56	0	0%	0.0	0%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	37	7.7	49	52	10.6	52	65	13.6	52	28	76%	5.9	76%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	115	24.1	54	103	21.0	54	114	23.9	57	-1	-1%	-0.1	-1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	4	0.8	56	4	0.8	55	5	1.0	56	1	25%	0.2	25%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	20	4.2	67	21	4.3	63	18	3.8	57	-2	-10%	-0.4	-10%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	45	9.4	69	40	8.2	64	46	9.6	65	1	2%	0.2	3%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	76	15.9	56	83	17.0	55	82	17.2	51	6	8%	1.3	8%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	8	1.7	55	13	2.7	58	15	3.1	57	7	88%	1.5	88%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	40	8.4	58	40	8.2	56	35	7.3	50	-5	-13%	-1.0	-12%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	48	10.0	53	60	12.3	56	65	13.6	58	17	35%	3.6	36%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	36	7.5	51	44	9.0	56	37	7.8	51	1	3%	0.2	3%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	33	6.9	62	40	8.2	65	40	8.4	61	7	21%	1.5	22%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	58	12.1	55	57	11.6	56	60	12.6	55	2	3%	0.5	4%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	7	1.5	60	7	1.4	50	6	1.3	46	-1	-14%	-0.2	-14%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	22	4.6	54	26	5.3	55	30	6.3	53	8	36%	1.7	37%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	23	4.8	52	31	6.3	54	48	10.1	56	25	109%	5.3	109%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				29	5.9	84	16	3.4	54	-13	-45%	-2.6	-43%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				59	12.1	51	58	12.2	49	58	-2%	0.1	1%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	21	4.4	50	30	6.1	52	35	7.3	50	14	67%	2.9	67%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

盛岡医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は73,305人(-15%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は81人(6%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は344人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は26%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

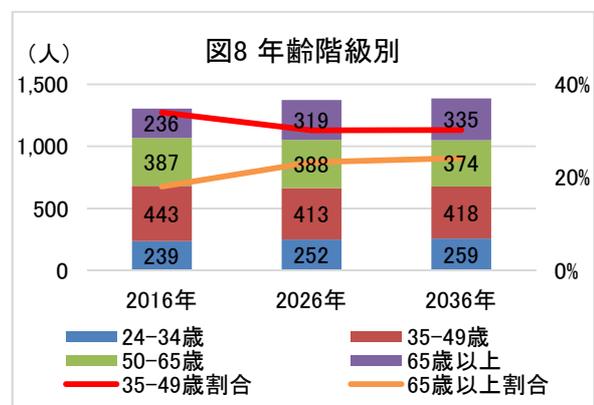
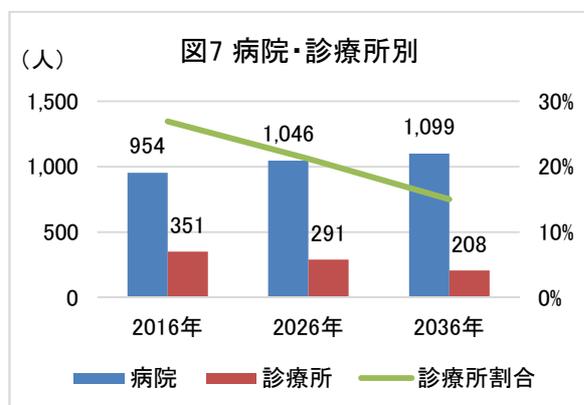
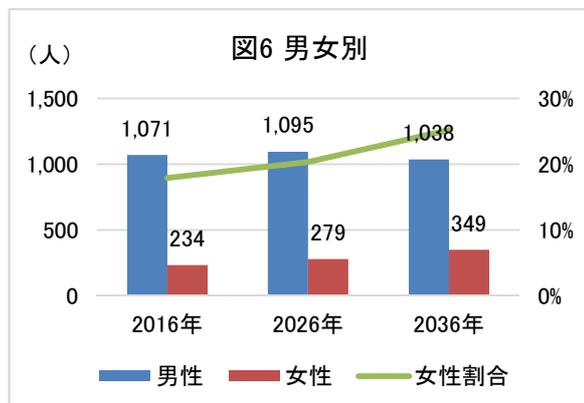
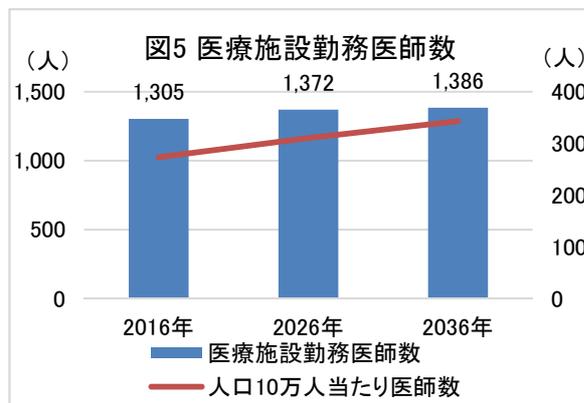
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて33人(-3%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に115人(49%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は25%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて145人(15%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に143人(-41%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は15%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は25人(-6%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて99人(42%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年24%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



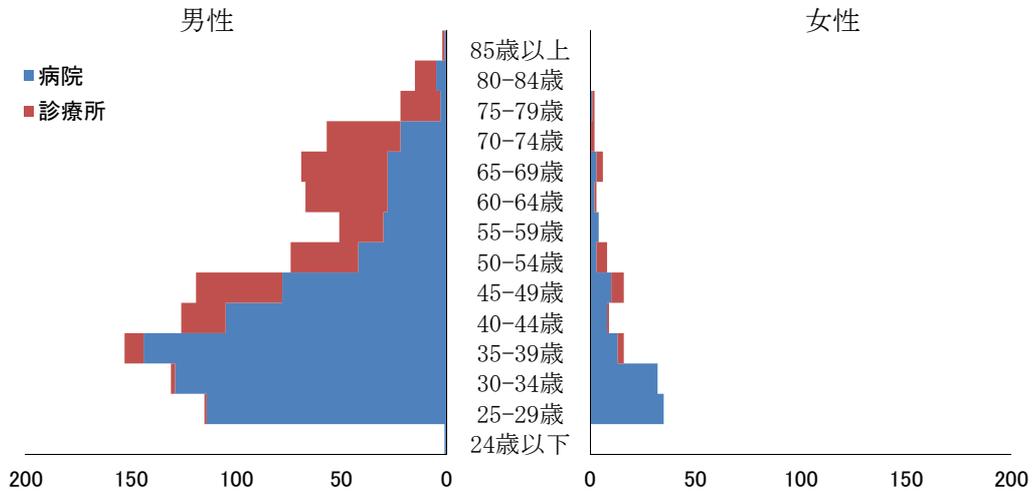
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

盛岡医療圏

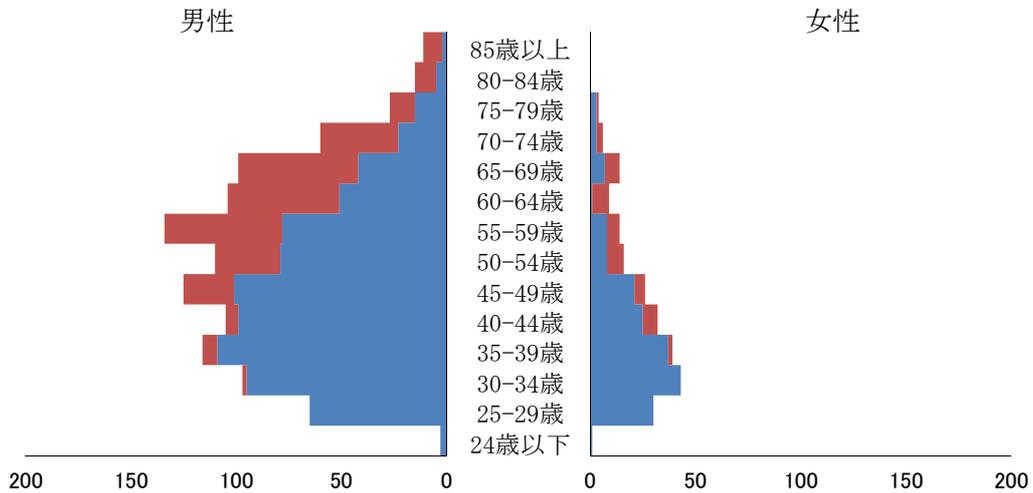
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

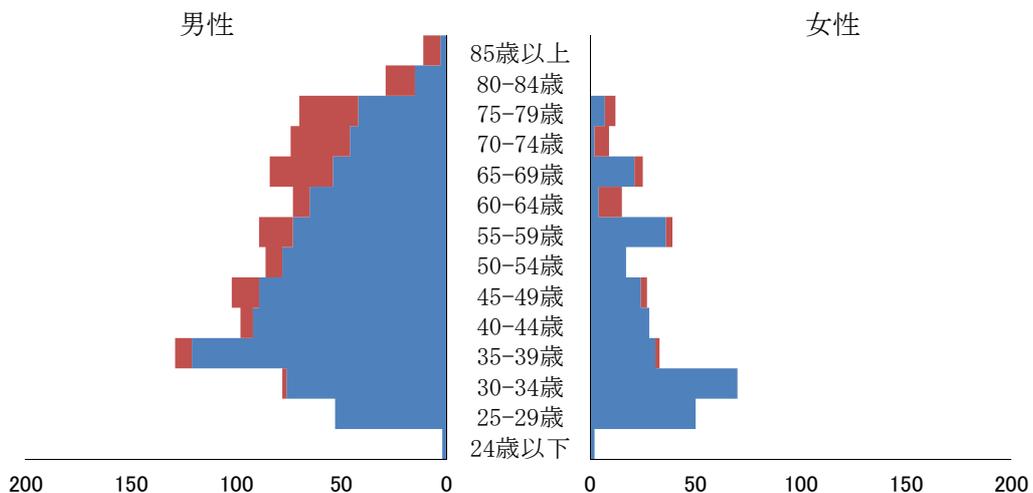
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

盛岡医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	476,758	441,523	403,453	-73,305	-15%	-35,235	-7%	-38,070	-9%	
医療施設勤務医師数	1,305	1,372	1,386	81	6%	67	5%	14	1%	
人口10万対	273.7	310.7	343.5	69.8	26%	37.0	14%	32.8	11%	
男性医師数	1,071	1,095	1,038	-33	-3%	24	2%	-57	-5%	
人口10万対	224.6	248.0	257.3	32.6	15%	23.4	10%	9.3	4%	
女性医師数	234	279	349	115	49%	45	19%	70	25%	
人口10万対	49.1	63.2	86.5	37.4	76%	14.1	29%	23.3	37%	
病院勤務医師数	954	1,046	1,099	145	15%	92	10%	53	5%	
人口10万対	200.1	236.9	272.4	72.3	36%	36.8	18%	35.5	15%	
診療所勤務医師数	351	291	208	-143	-41%	-60	-17%	-83	-29%	
人口10万対	73.6	65.9	51.6	-22.1	-30%	-7.7	-10%	-14.4	-22%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	239	252	259	20	8%	13	5%	7	3%
	35-49歳	443	413	418	-25	-6%	-30	-7%	5	1%
	50-64歳	387	388	374	-13	-3%	1	0%	-14	-4%
	65歳以上	236	319	335	99	42%	83	35%	16	5%
	75歳以上(再掲)	57	104	124	67	118%	47	82%	20	19%
男性	24-34歳	165	173	133	-32	-19%	8	5%	-40	-23%
	35-49歳	346	318	333	-13	-4%	-28	-8%	15	5%
	50-64歳	348	318	284	-64	-18%	-30	-9%	-34	-11%
	65歳以上	212	286	288	76	36%	74	35%	2	1%
	75歳以上(再掲)	53	90	109	56	106%	37	70%	19	21%
女性	24-34歳	74	78	121	47	64%	4	5%	43	55%
	35-49歳	97	99	94	-3	-3%	2	2%	-5	-5%
	50-64歳	39	68	88	49	126%	29	74%	20	29%
	65歳以上	24	34	46	22	92%	10	42%	12	35%
	75歳以上(再掲)	4	14	12	8	200%	10	250%	-2	-14%
病院	24-34歳	237	250	257	20	8%	13	5%	7	3%
	35-49歳	392	372	378	-14	-4%	-20	-5%	6	2%
	50-64歳	225	272	276	51	23%	47	21%	4	1%
	65歳以上	100	152	188	88	88%	52	52%	36	24%
	75歳以上(再掲)	25	53	68	43	172%	28	112%	15	28%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	51	33	34	-17	-33%	-18	-35%	1	3%
	50-64歳	162	94	49	-113	-70%	-68	-42%	-45	-48%
	65歳以上	136	162	123	-13	-10%	26	19%	-39	-24%
	75歳以上(再掲)	32	49	54	22	69%	17	53%	5	10%
	85歳以上(再掲)	9	5	8	-1	-11%	-4	-44%	3	60%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

岩手中部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は12,418人(-5%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は17人(6%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は144人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は11%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

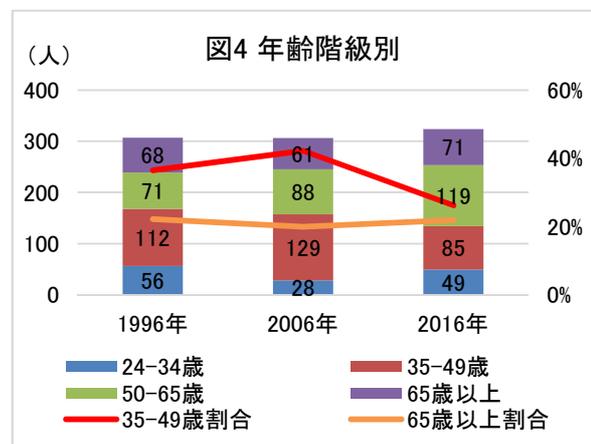
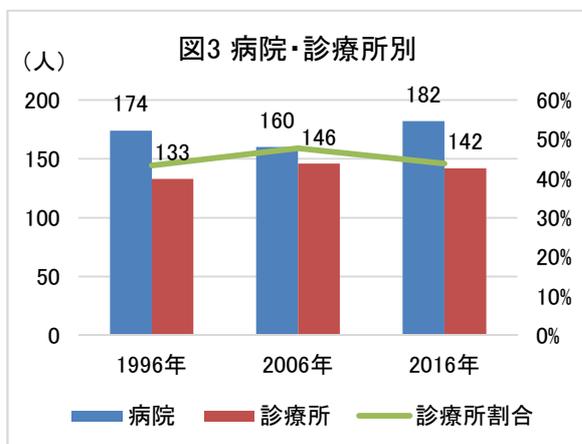
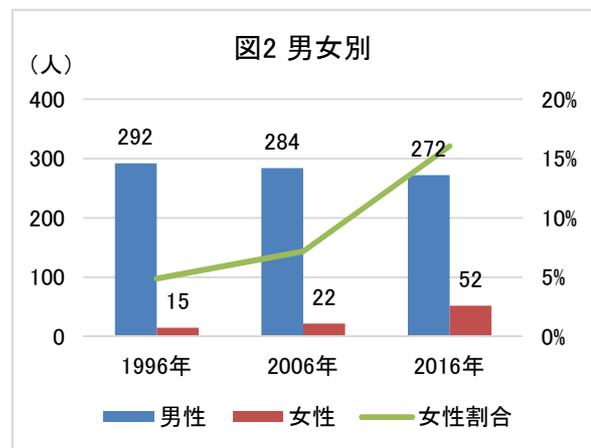
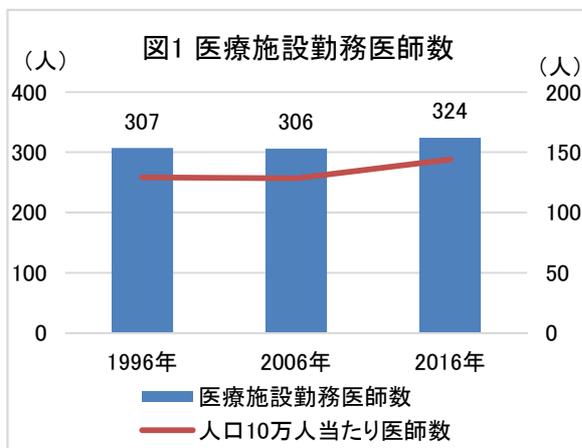
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて20人(-7%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に37人(247%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて8人(5%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に9人(7%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は44%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は27人(-24%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(4%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年22%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

岩手中部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	237,573	238,126	225,155	-12,418	-5%	553	0%	-12,971	-5%	
総医師数	321	323	341	20	6%	2	1%	18	6%	
人口10万対	135.1	135.6	151.5	16.3	12%	0.5	0%	15.8	12%	
医療施設勤務医師数	307	306	324	17	6%	-1	0%	18	6%	
人口10万対	129.2	128.5	143.9	14.7	11%	-0.7	-1%	15.4	12%	
男性医師数	292	284	272	-20	-7%	-8	-3%	-12	-4%	
人口10万対	122.9	119.3	120.8	-2.1	-2%	-3.6	-3%	1.5	1%	
女性医師数	15	22	52	37	247%	7	47%	30	136%	
人口10万対	6.3	9.2	23.1	16.8	266%	2.9	46%	13.9	150%	
病院勤務医師数	174	160	182	8	5%	-14	-8%	22	14%	
人口10万対	73.2	67.2	80.8	7.6	10%	-6.0	-8%	13.6	20%	
診療所勤務医師数	133	146	142	9	7%	13	10%	-4	-3%	
人口10万対	56.0	61.3	63.1	7.1	13%	5.3	10%	1.8	3%	
医療施設勤務医 平均年齢	50.2	51.8	52.9	2.8	6%	1.7	3%	1.1	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	56	28	49	-7	-13%	-28	-50%	21	75%
	35-49歳	112	129	85	-27	-24%	17	15%	-44	-34%
	50-64歳	71	88	119	48	68%	17	24%	31	35%
	65歳以上	68	61	71	3	4%	-7	-10%	10	16%
	75歳以上(再掲)	14	24	25	11	79%	10	71%	1	4%
男性	24-34歳	55	24	32	-23	-42%	-31	-56%	8	33%
	35-49歳	105	120	68	-37	-35%	15	14%	-52	-43%
	50-64歳	66	82	105	39	59%	16	24%	23	28%
	65歳以上	66	58	67	1	2%	-8	-12%	9	16%
	75歳以上(再掲)	13	24	24	11	85%	11	85%	0	0%
女性	24-34歳	1	4	17	16	1600%	3	300%	13	325%
	35-49歳	7	9	17	10	143%	2	29%	8	89%
	50-64歳	5	6	14	9	180%	1	20%	8	133%
	65歳以上	2	3	4	2	100%	1	50%	1	33%
	75歳以上(再掲)	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
病院	24-34歳	55	27	49	-6	-11%	-28	-51%	22	81%
	35-49歳	82	86	59	-23	-28%	4	5%	-27	-31%
	50-64歳	28	30	50	22	79%	2	7%	20	67%
	65歳以上	9	17	24	15	167%	8	89%	7	41%
	75歳以上(再掲)	3	4	4	1	33%	1	33%	0	0%
診療所	24-34歳	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
	35-49歳	30	43	26	-4	-13%	13	43%	-17	-40%
	50-64歳	43	58	69	26	60%	15	35%	11	19%
	65歳以上	59	44	47	-12	-20%	-15	-25%	3	7%
	75歳以上(再掲)	11	20	21	10	91%	9	82%	1	5%
	85歳以上(再掲)	1	0	7	6	600%	-1	-100%	7	

岩手中部医療圏

＜医師数の推移＞

岩手中部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、精神科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	307	129.2	43	306	128.5	40	324	143.9	39	17	6%	14.7	11%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	124	52.2	43	128	53.8	41	124	55.1	39	0	0%	2.9	6%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	17	7.2	42	18	7.6	41	18	8.0	40	1	6%	0.8	12%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	20	8.4	51	15	6.3	42	15	6.7	40	-5	-25%	-1.8	-21%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	41	17.3	46	41	17.2	49	39	17.3	48	-2	-5%	0.1	0%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	0.4	42	1	0.4	41	1	0.4	39	0	0%	0.0	6%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	16	6.7	59	15	6.3	56	15	6.7	53	-1	-6%	-0.1	-1%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	27	11.4	47	22	9.2	39	24	10.7	38	-3	-11%	-0.7	-6%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	0.4	42	1	0.4	40	1	0%	0.4	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	8	3.4	44	8	3.4	41	11	4.9	44	3	38%	1.5	45%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	13	5.5	43	16	6.7	43	13	5.8	39	0	0%	0.3	6%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	11	4.6	43	8	3.4	39	6	2.7	35	-5	-45%	-2.0	-42%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	8	3.4	47	8	3.4	44	8	3.6	42	0	0%	0.2	6%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	13	5.5	40	10	4.2	37	14	6.2	41	1	8%	0.7	14%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	3	1.3	57	1	0.4	42	0	0.0	37	-3	-100%	-1.3	-100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	1	0.4	39	3	1.3	40	3	0%	1.3	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	0.8	40	1	0.4	37	2	0.9	36	0	0%	0.0	6%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				11	4.6	42	23	10.2	47	23	109%	5.6	121%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	1.3	43	1	0.4	41	7	3.1	43	4	133%	1.8	146%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

岩手中部医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は45,105人(-20%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は42人(13%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は203人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

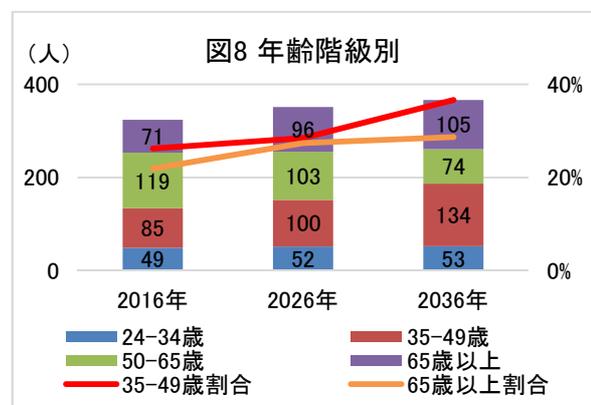
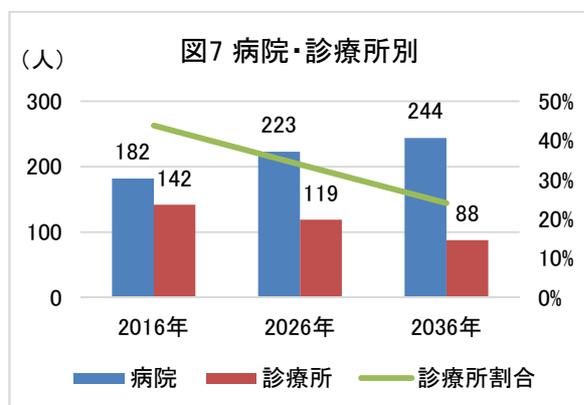
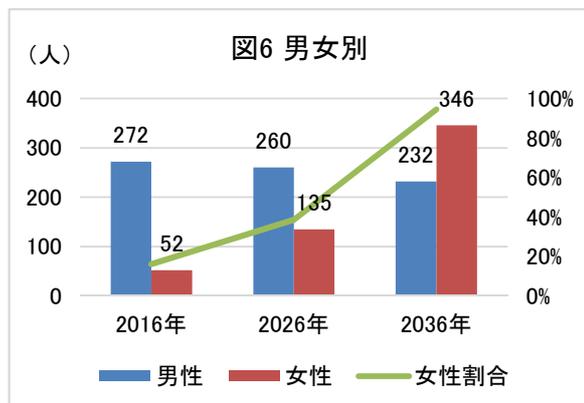
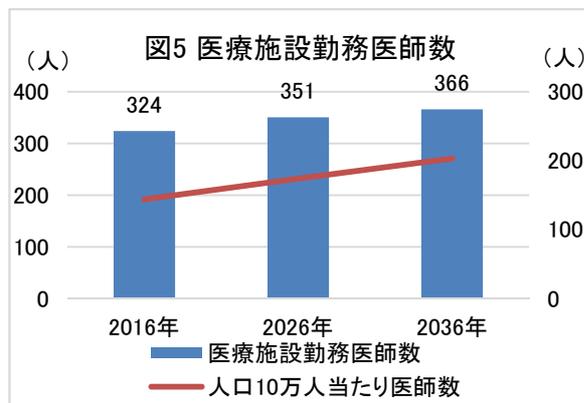
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて40人(-15%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に294人(565%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は95%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて62人(34%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に54人(-38%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は24%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は49人(58%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて34人(48%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



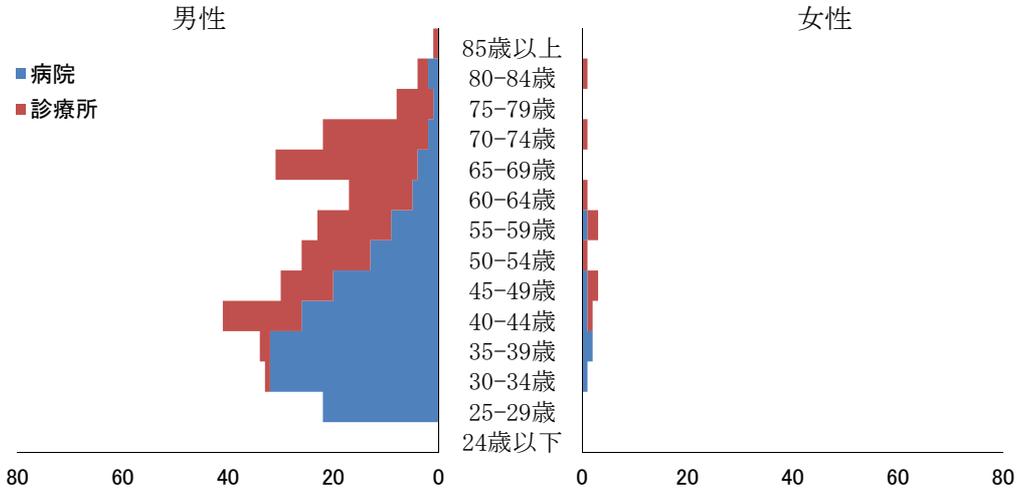
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

岩手中部医療圏

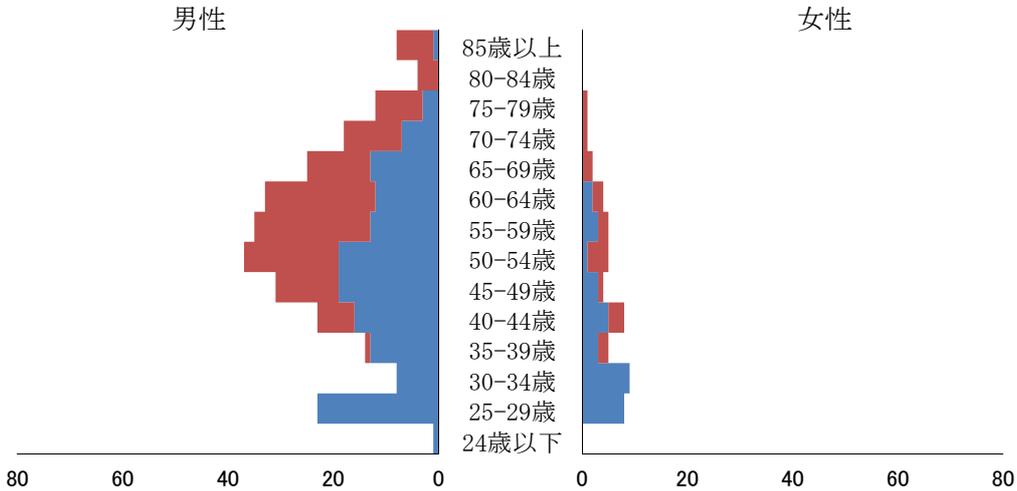
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

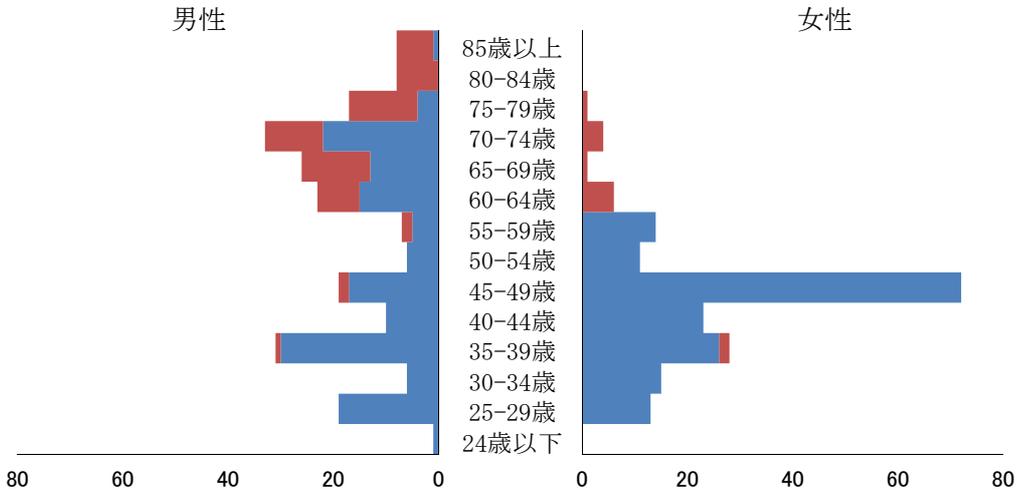
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

岩手中部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年	
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率
総人口	225,155	201,820	180,050	-45,105	-20%	-23,335	-10%	-21,770	-11%
医療施設勤務医師数	324	351	366	42	13%	27	8%	15	4%
人口10万対	143.9	173.9	203.3	59.4	41%	30.0	21%	29.4	17%
男性医師数	272	260	232	-40	-15%	-12	-4%	-28	-11%
人口10万対	120.8	128.8	128.9	8.0	7%	8.0	7%	0.0	0%
女性医師数	52	135	346	294	565%	83	160%	211	156%
人口10万対	23.1	66.9	192.2	169.1	732%	43.8	190%	125.3	187%
病院勤務医師数	182	223	244	62	34%	41	23%	21	9%
人口10万対	80.8	110.5	135.5	54.7	68%	29.7	37%	25.0	23%
診療所勤務医師数	142	119	88	-54	-38%	-23	-16%	-31	-26%
人口10万対	63.1	59.0	48.9	-14.2	-23%	-4.1	-7%	-10.1	-17%
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	49	52	3	6%	3	6%	1	2%
	35-49歳	85	100	15	18%	15	18%	34	34%
	50-64歳	119	103	-16	-13%	-16	-13%	-29	-28%
	65歳以上	71	96	25	35%	25	35%	9	9%
	75歳以上(再掲)	25	29	4	16%	4	16%	11	38%
男性	24-34歳	32	34	2	6%	2	6%	-8	-24%
	35-49歳	68	55	-13	-19%	-13	-19%	17	31%
	50-64歳	105	83	-22	-21%	-22	-21%	-41	-49%
	65歳以上	67	88	21	31%	21	31%	4	5%
	75歳以上(再掲)	24	28	4	17%	4	17%	9	32%
女性	24-34歳	17	18	1	6%	1	6%	10	56%
	35-49歳	17	84	67	394%	67	394%	145	173%
	50-64歳	14	25	11	79%	11	79%	50	200%
	65歳以上	4	8	4	100%	4	100%	6	75%
	75歳以上(再掲)	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
病院	24-34歳	49	52	3	6%	3	6%	1	2%
	35-49歳	59	76	17	29%	17	29%	22	29%
	50-64歳	50	63	13	26%	13	26%	-17	-27%
	65歳以上	24	32	8	33%	8	33%	15	47%
	75歳以上(再掲)	4	5	1	25%	1	25%	0	0%
診療所	24-34歳	0	0	0		0		0	
	35-49歳	26	10	-16	-62%	-16	-62%	0	0%
	50-64歳	69	48	-21	-30%	-21	-30%	-29	-60%
	65歳以上	47	61	14	30%	14	30%	-2	-3%
	75歳以上(再掲)	21	22	1	5%	1	5%	9	41%
	85歳以上(再掲)	7	7	0	0%	0	0%	1	14%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

胆江医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は13,834人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は10人(5%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は156人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は16%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

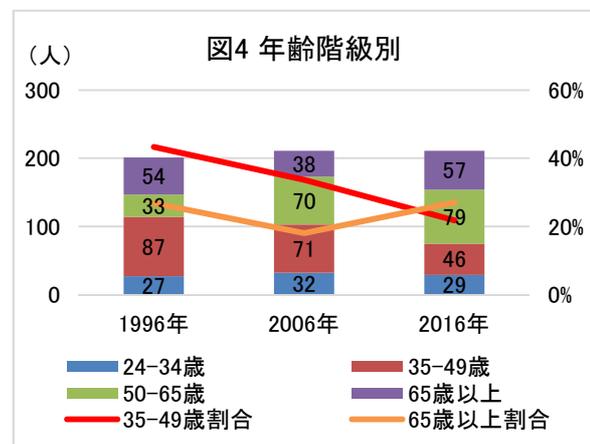
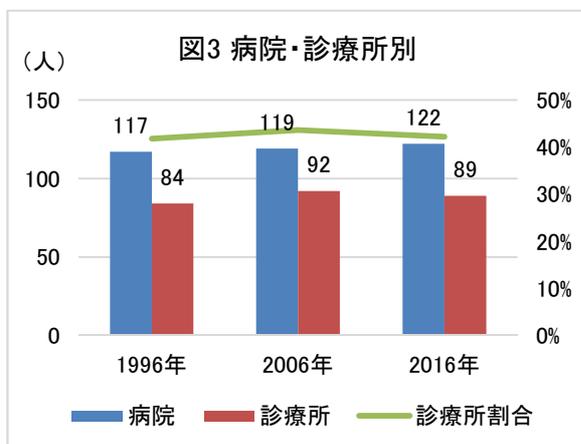
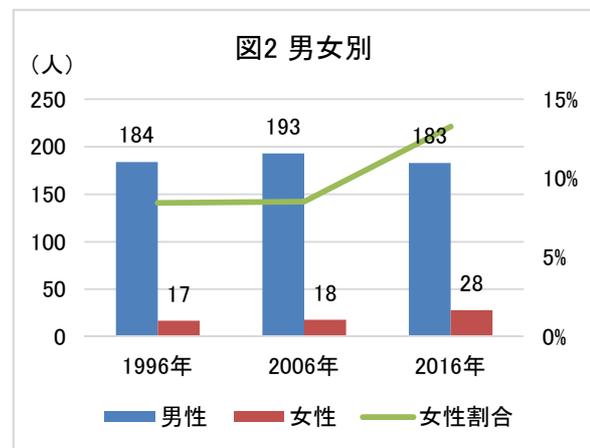
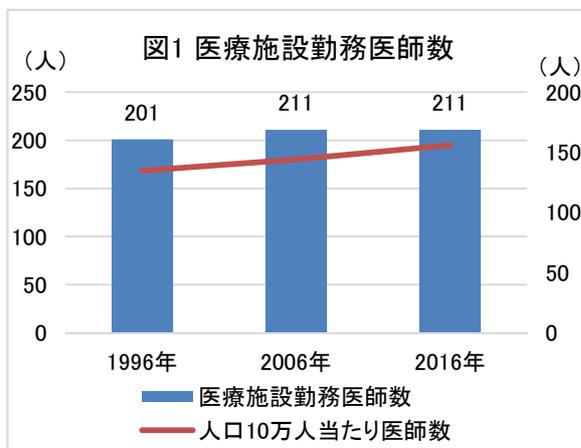
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて1人(-1%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に11人(65%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて5人(4%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(6%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は42%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は41人(-47%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(6%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年27%、2016年27%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

胆江医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	149,151	146,567	135,317	-13,834	-9%	-2,584	-2%	-11,250	-8%	
総医師数	205	224	221	16	8%	19	9%	-3	-1%	
人口10万対	137.4	152.8	163.3	25.9	19%	15.4	11%	10.5	7%	
医療施設勤務医師数	201	211	211	10	5%	10	5%	0	0%	
人口10万対	134.8	144.0	155.9	21.2	16%	9.2	7%	12.0	8%	
男性医師数	184	193	183	-1	-1%	9	5%	-10	-5%	
人口10万対	123.4	131.7	135.2	11.9	10%	8.3	7%	3.6	3%	
女性医師数	17	18	28	11	65%	1	6%	10	56%	
人口10万対	11.4	12.3	20.7	9.3	82%	0.9	8%	8.4	68%	
病院勤務医師数	117	119	122	5	4%	2	2%	3	3%	
人口10万対	78.4	81.2	90.2	11.7	15%	2.7	4%	9.0	11%	
診療所勤務医師数	84	92	89	5	6%	8	10%	-3	-3%	
人口10万対	56.3	62.8	65.8	9.5	17%	6.5	11%	3.0	5%	
医療施設勤務医 平均年齢	51.3	51.3	54.5	3.3	6%	-0.0	0%	3.3	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	27	32	29	2	7%	5	19%	-3	-9%
	35-49歳	87	71	46	-41	-47%	-16	-18%	-25	-35%
	50-64歳	33	70	79	46	139%	37	112%	9	13%
	65歳以上	54	38	57	3	6%	-16	-30%	19	50%
	75歳以上(再掲)	12	19	14	2	17%	7	58%	-5	-26%
男性	24-34歳	23	28	23	0	0%	5	22%	-5	-18%
	35-49歳	79	65	34	-45	-57%	-14	-18%	-31	-48%
	50-64歳	32	65	71	39	122%	33	103%	6	9%
	65歳以上	50	35	55	5	10%	-15	-30%	20	57%
	75歳以上(再掲)	12	16	14	2	17%	4	33%	-2	-13%
女性	24-34歳	4	4	6	2	50%	0	0%	2	50%
	35-49歳	8	6	12	4	50%	-2	-25%	6	100%
	50-64歳	1	5	8	7	700%	4	400%	3	60%
	65歳以上	4	3	2	-2	-50%	-1	-25%	-1	-33%
	75歳以上(再掲)	0	3	0	0		3		-3	-100%
病院	24-34歳	27	32	29	2	7%	5	19%	-3	-9%
	35-49歳	57	48	34	-23	-40%	-9	-16%	-14	-29%
	50-64歳	13	26	37	24	185%	13	100%	11	42%
	65歳以上	20	13	22	2	10%	-7	-35%	9	69%
	75歳以上(再掲)	3	9	3	0	0%	6	200%	-6	-67%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	30	23	12	-18	-60%	-7	-23%	-11	-48%
	50-64歳	20	44	42	22	110%	24	120%	-2	-5%
	65歳以上	34	25	35	1	3%	-9	-26%	10	40%
	75歳以上(再掲)	9	10	11	2	22%	1	11%	1	10%
	85歳以上(再掲)	3	1	2	-1	-33%	-2	-67%	1	100%

胆江医療圏

＜医師数の推移＞

胆江医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、泌尿器科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、脳神経外科、眼科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	201	134.8	44	211	144.0	42	211	155.9	41	10	5%	21.2	16%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	87	58.3	45	79	53.9	41	84	62.1	41	-3	-3%	3.7	6%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	11	7.4	42	9	6.1	38	8	5.9	36	-3	-27%	-1.5	-20%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	7	4.7	42	6	4.1	38	7	5.2	37	0	0%	0.5	10%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	34	22.8	52	34	23.2	57	29	21.4	53	-5	-15%	-1.4	-6%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	1	0.7	40	1	0%	0.7	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	2.7	43	5	3.4	44	3	2.2	36	-1	-25%	-0.5	-17%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	15	10.1	44	19	13.0	46	16	11.8	41	1	7%	1.8	18%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	1	0.7	42	1	0%	0.7	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	3.4	44	7	4.8	46	5	3.7	40	0	0%	0.3	10%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	8	5.4	43	6	4.1	37	7	5.2	37	-1	-13%	-0.2	-4%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	7	4.7	43	10	6.8	50	9	6.7	48	2	29%	2.0	42%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	2.7	44	5	3.4	44	10	7.4	57	6	150%	4.7	176%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	13	8.7	47	12	8.2	47	9	6.7	42	-4	-31%	-2.1	-24%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	1	0.7	42	1	0%	0.7	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	0.7	41	1	0.7	40	1	0.7	38	0	0%	0.1	10%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	5	3.4	48	4	2.7	44	6	4.4	44	1	20%	1.1	32%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				13	8.9	47	12	8.9	45	12	-8%	-0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	1	0.7	41	2	1.5	40	2	0%	1.5	0%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

胆江医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は28,568人(-21%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は27人(-13%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は172人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は11%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

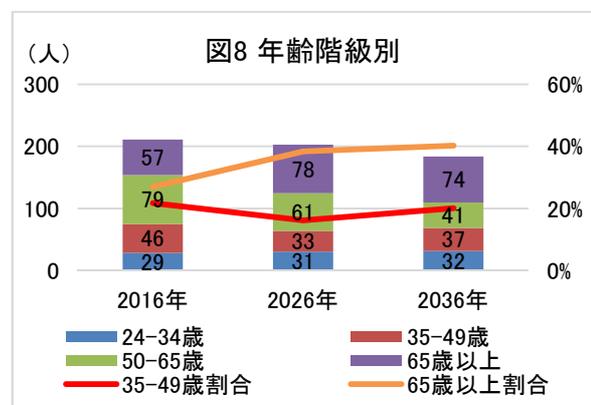
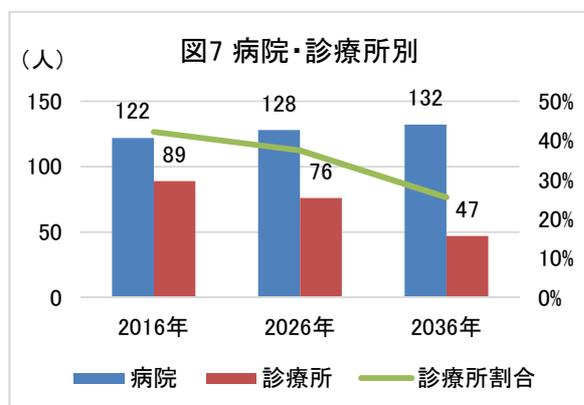
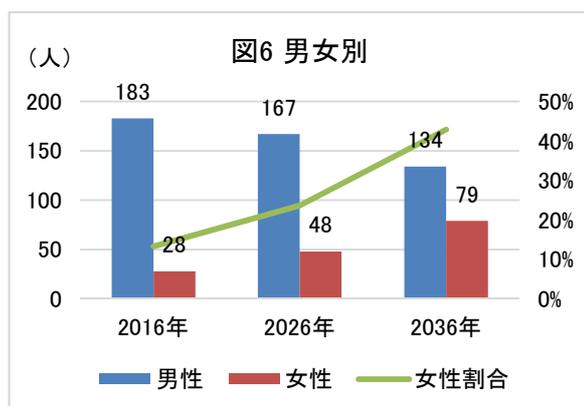
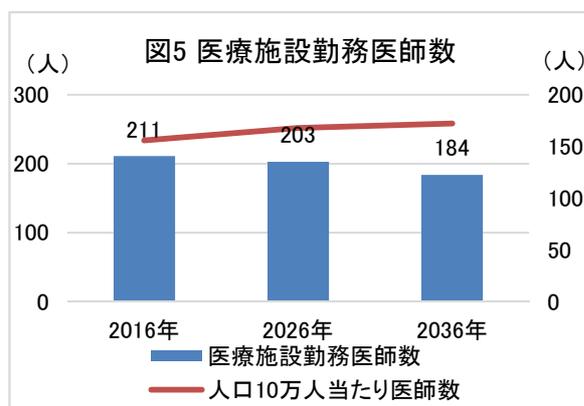
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて49人(-27%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に51人(182%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は43%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて10人(8%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に42人(-47%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と、全国平均(26%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は9人(-20%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて17人(30%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年27%、2036年40%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



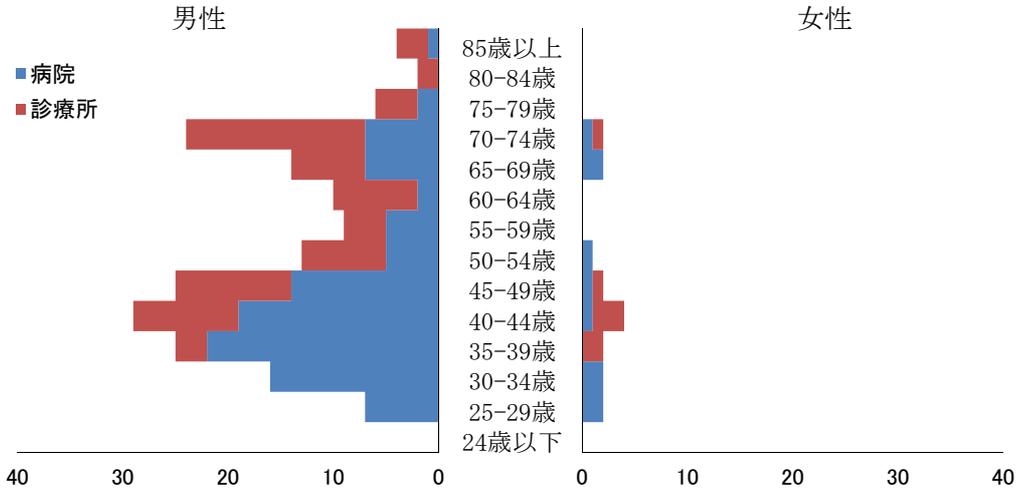
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

胆江医療圏

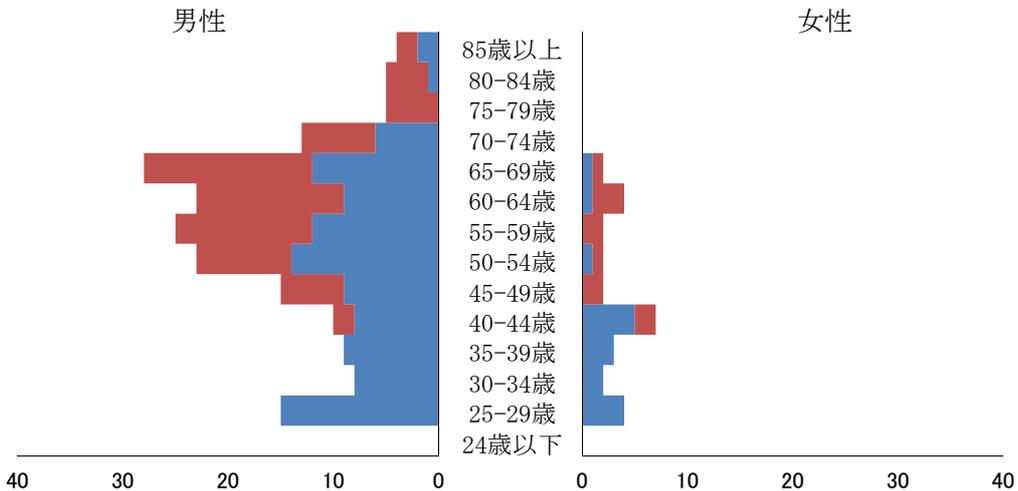
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

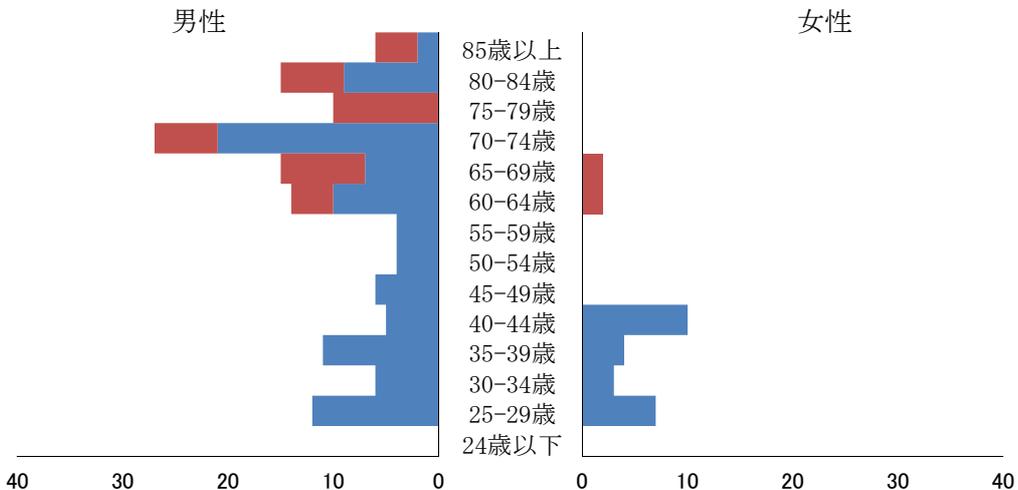
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

胆江医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	135,317	120,791	106,749	-28,568	-21%	-14,526	-11%	-14,042	-12%	
医療施設勤務医師数	211	203	184	-27	-13%	-8	-4%	-19	-9%	
人口10万対	155.9	168.1	172.4	16.4	11%	12.1	8%	4.3	3%	
男性医師数	183	167	134	-49	-27%	-16	-9%	-33	-20%	
人口10万対	135.2	138.3	125.5	-9.7	-7%	3.0	2%	-12.7	-9%	
女性医師数	28	48	79	51	182%	20	71%	31	65%	
人口10万対	20.7	39.7	74.0	53.3	258%	19.0	92%	34.3	86%	
病院勤務医師数	122	128	132	10	8%	6	5%	4	3%	
人口10万対	90.2	106.0	123.7	33.5	37%	15.8	18%	17.7	17%	
診療所勤務医師数	89	76	47	-42	-47%	-13	-15%	-29	-38%	
人口10万対	65.8	62.9	44.0	-21.7	-33%	-2.9	-4%	-18.9	-30%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	29	31	32	3	10%	2	7%	1	3%
	35-49歳	46	33	37	-9	-20%	-13	-28%	4	12%
	50-64歳	79	61	41	-38	-48%	-18	-23%	-20	-33%
	65歳以上	57	78	74	17	30%	21	37%	-4	-5%
	75歳以上(再掲)	14	25	33	19	136%	11	79%	8	32%
男性	24-34歳	23	24	18	-5	-22%	1	4%	-6	-25%
	35-49歳	34	23	25	-9	-26%	-11	-32%	2	9%
	50-64歳	71	49	24	-47	-66%	-22	-31%	-25	-51%
	65歳以上	55	71	67	12	22%	16	29%	-4	-6%
	75歳以上(再掲)	14	25	31	17	121%	11	79%	6	24%
女性	24-34歳	6	6	10	4	67%	0	0%	4	67%
	35-49歳	12	20	21	9	75%	8	67%	1	5%
	50-64歳	8	18	44	36	450%	10	125%	26	144%
	65歳以上	2	4	4	2	100%	2	100%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	29	31	32	3	10%	2	7%	1	3%
	35-49歳	34	29	32	-2	-6%	-5	-15%	3	10%
	50-64歳	37	39	29	-8	-22%	2	5%	-10	-26%
	65歳以上	22	29	39	17	77%	7	32%	10	34%
	75歳以上(再掲)	3	7	11	8	267%	4	133%	4	57%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	12	0	0	-12	-100%	-12	-100%	0	
	50-64歳	42	27	7	-35	-83%	-15	-36%	-20	-74%
	65歳以上	35	49	40	5	14%	14	40%	-9	-18%
	75歳以上(再掲)	11	18	22	11	100%	7	64%	4	22%
	85歳以上(再掲)	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

両磐医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は23,811人(-16%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は10人(5%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は158人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

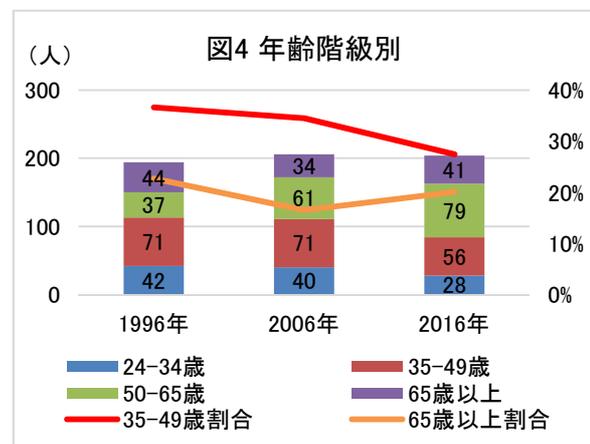
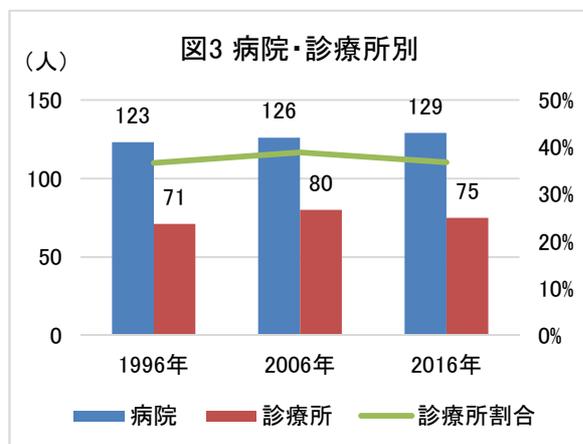
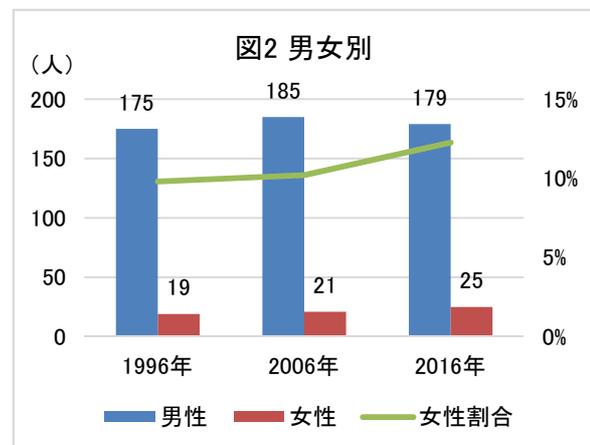
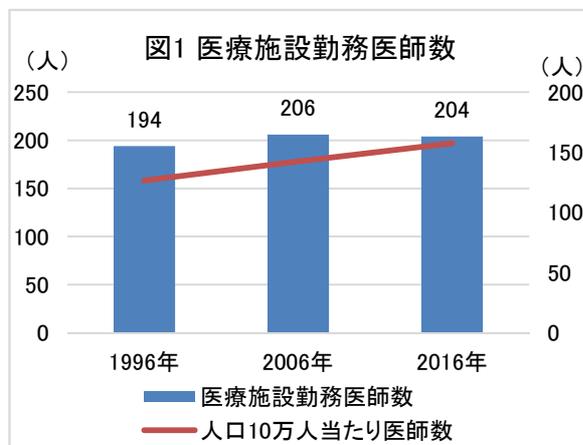
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて4人(2%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(32%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は12%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて6人(5%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人(6%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は37%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は15人(-21%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(-7%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年23%、2016年20%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

両磐医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	153,262	144,541	129,451	-23,811	-16%	-8,721	-6%	-15,090	-10%	
総医師数	202	213	211	9	4%	11	5%	-2	-1%	
人口10万対	131.8	147.4	163.0	31.2	24%	15.6	12%	15.6	11%	
医療施設勤務医師数	194	206	204	10	5%	12	6%	-2	-1%	
人口10万対	126.6	142.5	157.6	31.0	24%	15.9	13%	15.1	11%	
男性医師数	175	185	179	4	2%	10	6%	-6	-3%	
人口10万対	114.2	128.0	138.3	24.1	21%	13.8	12%	10.3	8%	
女性医師数	19	21	25	6	32%	2	11%	4	19%	
人口10万対	12.4	14.5	19.3	6.9	56%	2.1	17%	4.8	33%	
病院勤務医師数	123	126	129	6	5%	3	2%	3	2%	
人口10万対	80.3	87.2	99.7	19.4	24%	6.9	9%	12.5	14%	
診療所勤務医師数	71	80	75	4	6%	9	13%	-5	-6%	
人口10万対	46.3	55.3	57.9	11.6	25%	9.0	19%	2.6	5%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.3	49.4	53.1	3.8	8%	0.1	0%	3.7	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	42	40	28	-14	-33%	-2	-5%	-12	-30%
	35-49歳	71	71	56	-15	-21%	0	0%	-15	-21%
	50-64歳	37	61	79	42	114%	24	65%	18	30%
	65歳以上	44	34	41	-3	-7%	-10	-23%	7	21%
	75歳以上(再掲)	9	16	17	8	89%	7	78%	1	6%
男性	24-34歳	35	31	26	-9	-26%	-4	-11%	-5	-16%
	35-49歳	65	66	41	-24	-37%	1	2%	-25	-38%
	50-64歳	34	56	72	38	112%	22	65%	16	29%
	65歳以上	41	32	40	-1	-2%	-9	-22%	8	25%
	75歳以上(再掲)	9	15	16	7	78%	6	67%	1	7%
女性	24-34歳	7	9	2	-5	-71%	2	29%	-7	-78%
	35-49歳	6	5	15	9	150%	-1	-17%	10	200%
	50-64歳	3	5	7	4	133%	2	67%	2	40%
	65歳以上	3	2	1	-2	-67%	-1	-33%	-1	-50%
	75歳以上(再掲)	0	1	1	1		1		0	0%
病院	24-34歳	42	40	28	-14	-33%	-2	-5%	-12	-30%
	35-49歳	51	52	42	-9	-18%	1	2%	-10	-19%
	50-64歳	16	26	46	30	188%	10	63%	20	77%
	65歳以上	14	8	13	-1	-7%	-6	-43%	5	63%
	75歳以上(再掲)	3	3	7	4	133%	0	0%	4	133%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	20	19	14	-6	-30%	-1	-5%	-5	-26%
	50-64歳	21	35	33	12	57%	14	67%	-2	-6%
	65歳以上	30	26	28	-2	-7%	-4	-13%	2	8%
	75歳以上(再掲)	6	13	10	4	67%	7	117%	-3	-23%
	85歳以上(再掲)	1	0	2	1	100%	-1	-100%	2	

両磐医療圏

<医師数の推移>

両磐医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、脳神経外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、皮膚科、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	194	126.6	43	206	142.5	42	204	157.6	41	10	5%	31.0	24%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	87	56.8	44	87	60.2	44	84	64.9	42	-3	-3%	8.1	14%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	11	7.2	42	6	4.2	33	8	6.2	37	-3	-27%	-1.0	-14%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	12	7.8	49	17	11.8	54	14	10.8	47	2	17%	3.0	38%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	23	15.0	44	22	15.2	46	25	19.3	51	2	9%	4.3	29%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	5	3.3	45	4	2.8	41	4	3.1	40	-1	-20%	-0.2	-5%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	13	8.5	41	11	7.6	35	12	9.3	36	-1	-8%	0.8	9%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.7	47	2	1.4	49	1	0.8	42	0	0%	0.1	18%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	2.6	42	3	2.1	37	6	4.6	43	2	50%	2.0	78%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	9	5.9	44	8	5.5	40	4	3.1	32	-5	-56%	-2.8	-47%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	8	5.2	45	4	2.8	37	5	3.9	39	-3	-38%	-1.4	-26%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	1.3	38	8	5.5	53	6	4.6	46	4	200%	3.3	255%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	15	9.8	50	9	6.2	42	10	7.7	44	-5	-33%	-2.1	-21%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	0.7	44	1	0.8	42	1	0	0.8	0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	2	1.4	42	3	2.3	42	3	0	2.3	0
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	2.0	44	3	2.1	42	3	2.3	39	0	0%	0.4	18%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	3	2.3	49	3	0	2.3	0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				16	11.1	50	12	9.3	46	12	-25%	-1.8	-16%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.7	42	3	2.1	44	3	2.3	41	2	200%	1.7	255%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

両磐医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は34,221人(-26%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は22人(-11%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は191人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は21%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

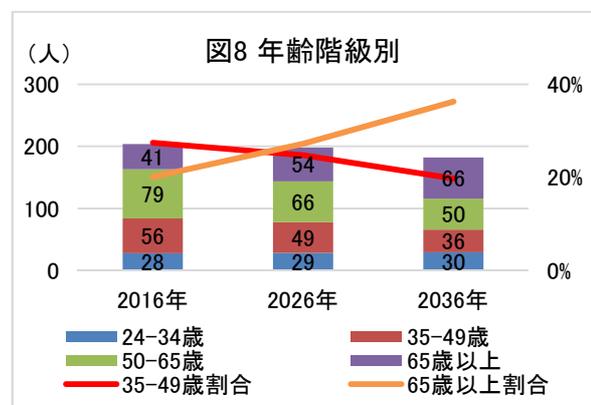
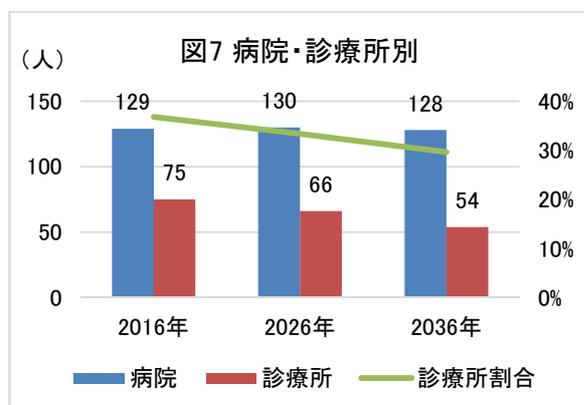
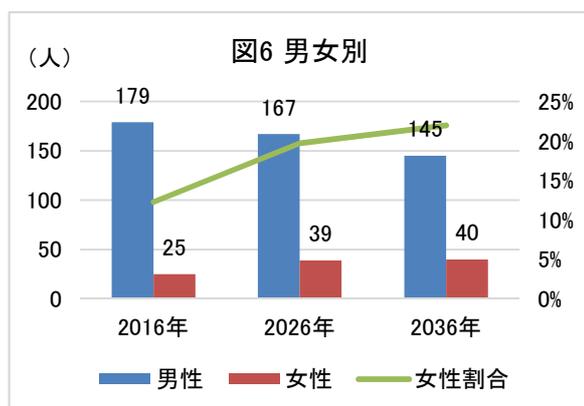
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて34人(-19%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に15人(60%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は22%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1人(-1%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に21人(-28%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は30%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は20人(-36%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて25人(61%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年36%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



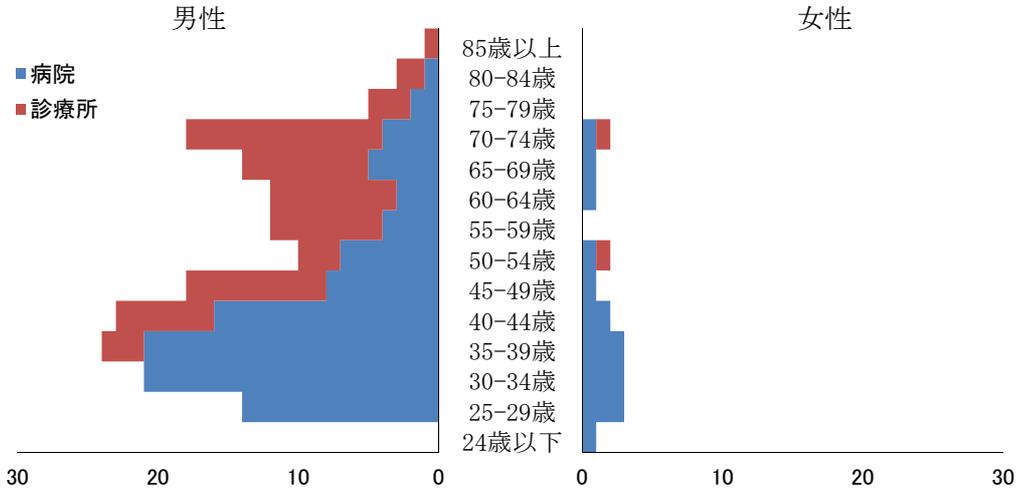
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

両磐医療圏

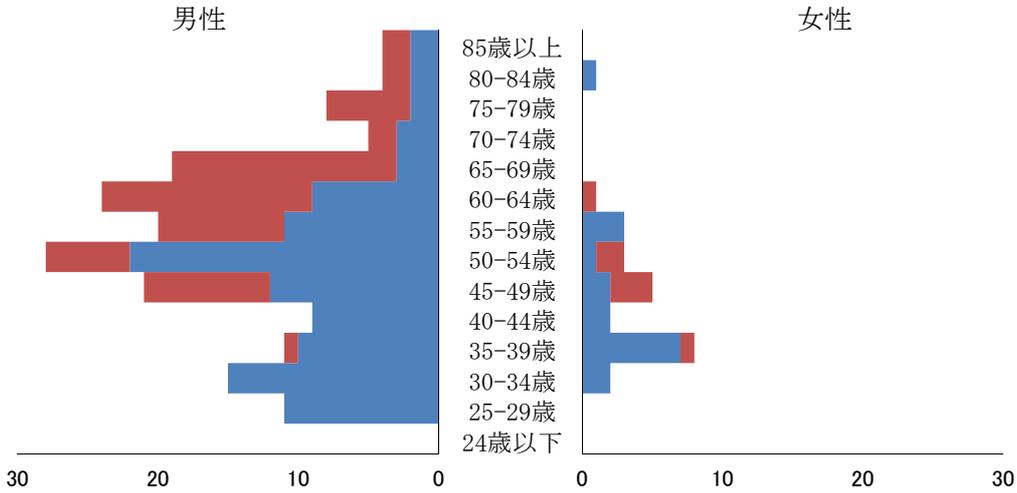
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

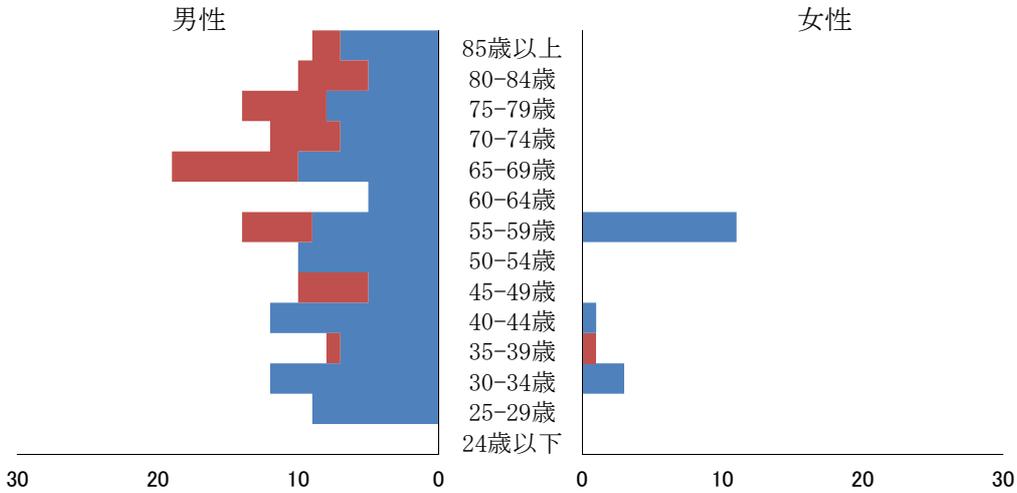
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

両磐医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	129,451	111,368	95,230	-34,221	-26%	-18,083	-14%	-16,138	-14%	
医療施設勤務医師数	204	198	182	-22	-11%	-6	-3%	-16	-8%	
人口10万対	157.6	177.8	191.1	33.5	21%	20.2	13%	13.3	7%	
男性医師数	179	167	145	-34	-19%	-12	-7%	-22	-13%	
人口10万対	138.3	150.0	152.3	14.0	10%	11.7	8%	2.3	2%	
女性医師数	25	39	40	15	60%	14	56%	1	3%	
人口10万対	19.3	35.0	42.0	22.7	117%	15.7	81%	7.0	20%	
病院勤務医師数	129	130	128	-1	-1%	1	1%	-2	-2%	
人口10万対	99.7	116.7	134.4	34.8	35%	17.1	17%	17.7	15%	
診療所勤務医師数	75	66	54	-21	-28%	-9	-12%	-12	-18%	
人口10万対	57.9	59.3	56.7	-1.2	-2%	1.3	2%	-2.6	-4%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	28	29	30	2	7%	1	4%	1	3%
	35-49歳	56	49	36	-20	-36%	-7	-13%	-13	-27%
	50-64歳	79	66	50	-29	-37%	-13	-16%	-16	-24%
	65歳以上	41	54	66	25	61%	13	32%	12	22%
	75歳以上(再掲)	17	22	28	11	65%	5	29%	6	27%
男性	24-34歳	26	27	21	-5	-19%	1	4%	-6	-22%
	35-49歳	41	32	28	-13	-32%	-9	-22%	-4	-13%
	50-64歳	72	55	32	-40	-56%	-17	-24%	-23	-42%
	65歳以上	40	53	64	24	60%	13	33%	11	21%
	75歳以上(再掲)	16	21	29	13	81%	5	31%	8	38%
女性	24-34歳	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%
	35-49歳	15	21	1	-14	-93%	6	40%	-20	-95%
	50-64歳	7	16	36	29	414%	9	129%	20	125%
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	28	29	30	2	7%	1	4%	1	3%
	35-49歳	42	36	28	-14	-33%	-6	-14%	-8	-22%
	50-64歳	46	42	35	-11	-24%	-4	-9%	-7	-17%
	65歳以上	13	23	35	22	169%	10	77%	12	52%
	75歳以上(再掲)	7	11	19	12	171%	4	57%	8	73%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	14	14	14	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	33	21	12	-21	-64%	-12	-36%	-9	-43%
	65歳以上	28	31	28	0	0%	3	11%	-3	-10%
	75歳以上(再掲)	10	14	12	2	20%	4	40%	-2	-14%
	85歳以上(再掲)	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

気仙医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は16,653人(-21%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は5人(-5%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は148人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は20%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

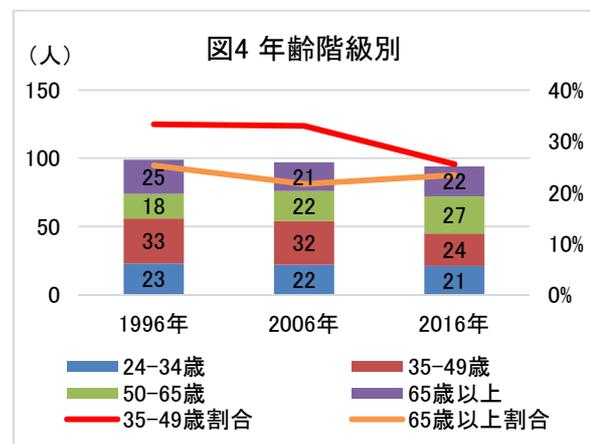
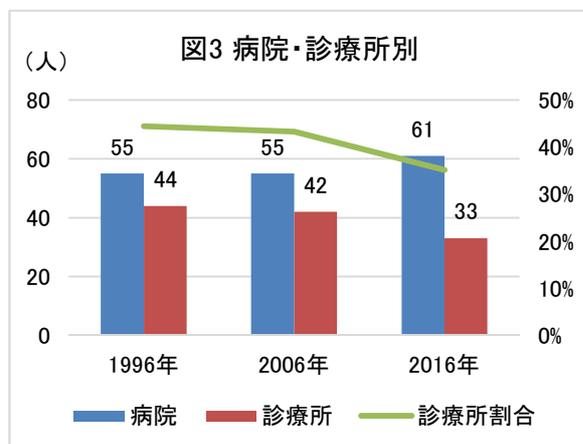
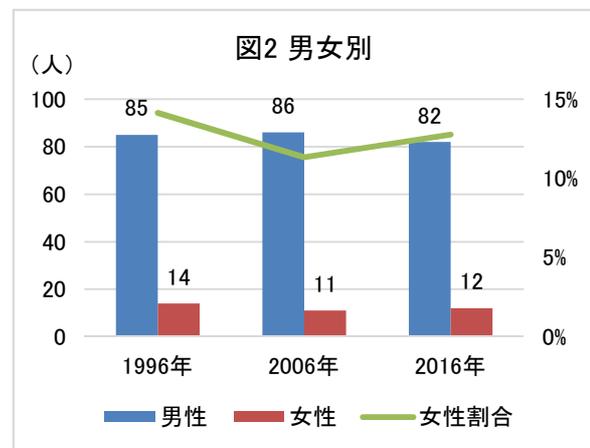
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて3人(-4%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-14%)減り、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて6人(11%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に11人(-25%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は35%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は9人(-27%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(-12%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年25%、2016年23%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

気仙医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	80,189	74,888	63,536	-16,653	-21%	-5,301	-7%	-11,352	-15%	
総医師数	103	106	98	-5	-5%	3	3%	-8	-8%	
人口10万対	128.4	141.5	154.2	25.8	20%	13.1	10%	12.7	9%	
医療施設勤務医師数	99	97	94	-5	-5%	-2	-2%	-3	-3%	
人口10万対	123.5	129.5	147.9	24.5	20%	6.1	5%	18.4	14%	
男性医師数	85	86	82	-3	-4%	1	1%	-4	-5%	
人口10万対	106.0	114.8	129.1	23.1	22%	8.8	8%	14.2	12%	
女性医師数	14	11	12	-2	-14%	-3	-21%	1	9%	
人口10万対	17.5	14.7	18.9	1.4	8%	-2.8	-16%	4.2	29%	
病院勤務医師数	55	55	61	6	11%	0	0%	6	11%	
人口10万対	68.6	73.4	96.0	27.4	40%	4.9	7%	22.6	31%	
診療所勤務医師数	44	42	33	-11	-25%	-2	-5%	-9	-21%	
人口10万対	54.9	56.1	51.9	-2.9	-5%	1.2	2%	-4.1	-7%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.9	49.8	50.4	0.5	1%	-0.2	0%	0.6	1%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	23	22	21	-2	-9%	-1	-4%	-1	-5%
	35-49歳	33	32	24	-9	-27%	-1	-3%	-8	-25%
	50-64歳	18	22	27	9	50%	4	22%	5	23%
	65歳以上	25	21	22	-3	-12%	-4	-16%	1	5%
	75歳以上(再掲)	8	9	8	0	0%	1	13%	-1	-11%
男性	24-34歳	19	15	15	-4	-21%	-4	-21%	0	0%
	35-49歳	29	31	22	-7	-24%	2	7%	-9	-29%
	50-64歳	16	22	26	10	63%	6	38%	4	18%
	65歳以上	21	18	19	-2	-10%	-3	-14%	1	6%
	75歳以上(再掲)	6	7	6	0	0%	1	17%	-1	-14%
女性	24-34歳	4	7	6	2	50%	3	75%	-1	-14%
	35-49歳	4	1	2	-2	-50%	-3	-75%	1	100%
	50-64歳	2	0	1	-1	-50%	-2	-100%	1	
	65歳以上	4	3	3	-1	-25%	-1	-25%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
病院	24-34歳	22	22	21	-1	-5%	0	0%	-1	-5%
	35-49歳	24	20	21	-3	-13%	-4	-17%	1	5%
	50-64歳	5	11	14	9	180%	6	120%	3	27%
	65歳以上	4	2	5	1	25%	-2	-50%	3	150%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	9	12	3	-6	-67%	3	33%	-9	-75%
	50-64歳	13	11	13	0	0%	-2	-15%	2	18%
	65歳以上	21	19	17	-4	-19%	-2	-10%	-2	-11%
	75歳以上(再掲)	6	8	8	2	33%	2	33%	0	0%
	85歳以上(再掲)	2	1	2	0	0%	-1	-50%	1	100%

気仙医療圏

＜医師数の推移＞

気仙医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、精神科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、整形外科、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	99	123.5	43	97	129.5	40	94	147.9	40	-5	-5%	24.5	20%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	48	59.9	45	38	50.7	40	36	56.7	40	-12	-25%	-3.2	-5%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	6	7.5	42	6	8.0	42	7	11.0	46	1	17%	3.5	47%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	6	7.5	49	4	5.3	40	3	4.7	36	-3	-50%	-2.8	-37%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	14	17.5	46	13	17.4	49	11	17.3	48	-3	-21%	-0.1	-1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	3.7	47	3	4.0	46	3	4.7	46	0	0%	1.0	26%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	4	5.0	34	5	6.7	33	6	9.4	36	2	50%	4.5	89%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.5	42	2	2.7	39	2	3.1	39	0	0%	0.7	26%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	6.2	45	3	4.0	36	2	3.1	32	-3	-60%	-3.1	-50%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	3	3.7	41	2	2.7	37	1	1.6	32	-2	-67%	-2.2	-58%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	2.5	43	2	2.7	41	4	6.3	53	2	100%	3.8	152%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	6	7.5	44	4	5.3	40	5	7.9	45	-1	-17%	0.4	5%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0	0.0	0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0	0.0	0
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	2	2.7	43	0	0.0	34	0	0	0.0	0
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				12	16.0	56	11	17.3	54	11	-8%	1.3	8%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.3	42	3	4.7	45	3	3	4.7	4.7

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

気仙医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は18,105人(-28%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は1人(1%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は209人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

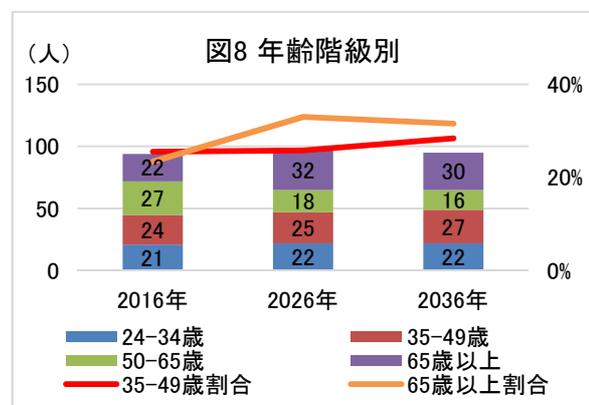
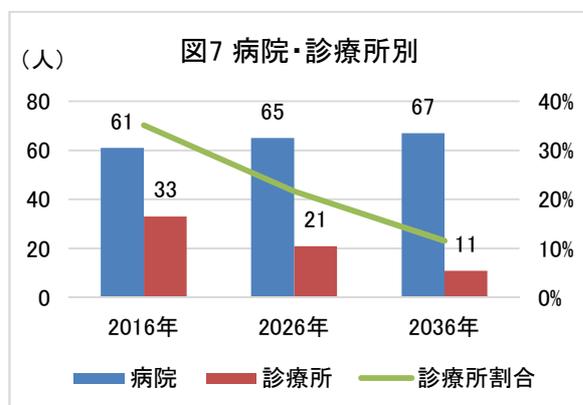
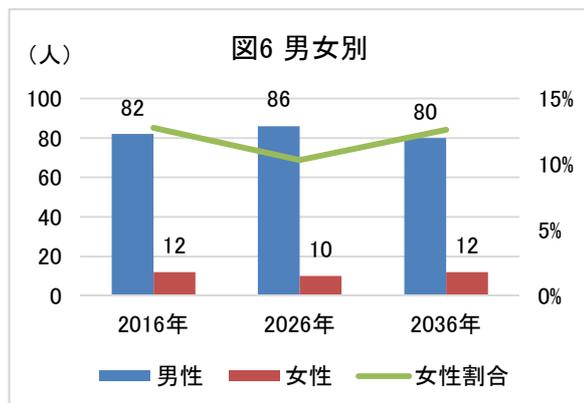
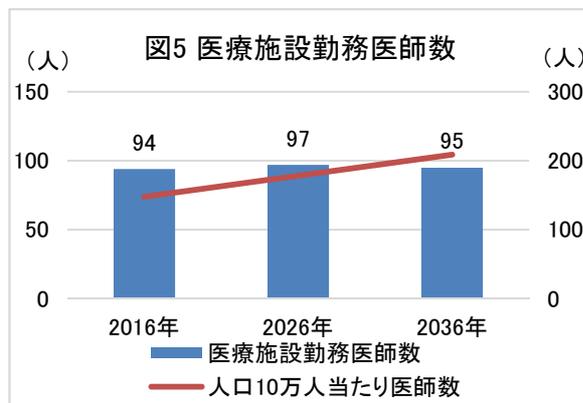
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて2人(-2%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は13%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて6人(10%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に22人(-67%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は12%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は3人(13%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて8人(36%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年23%、2036年32%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



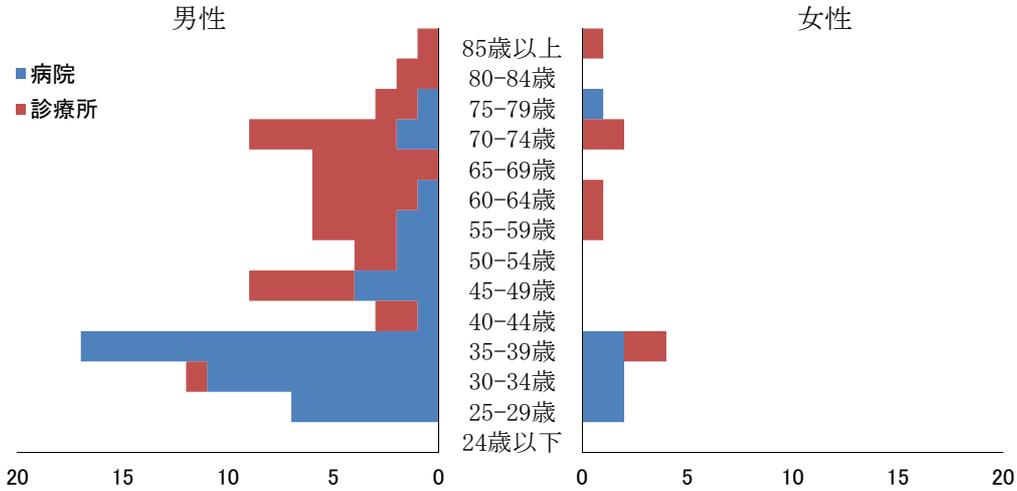
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

気仙医療圏

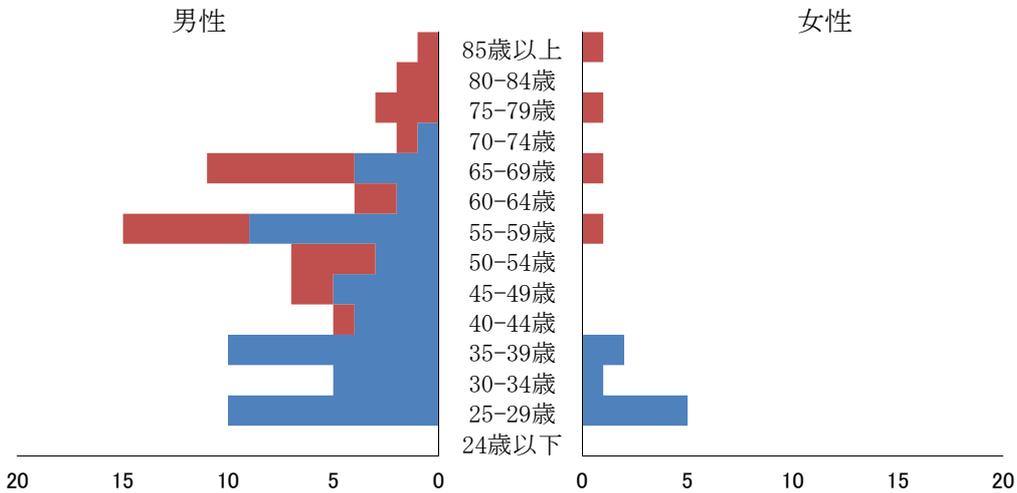
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

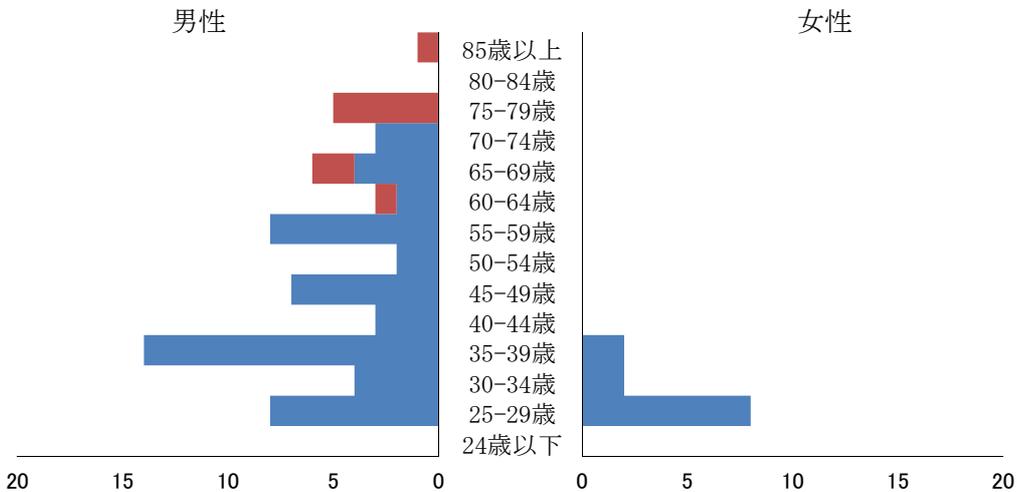
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

気仙医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	63,536	54,397	45,431	-18,105	-28%	-9,139	-14%	-8,966	-16%	
医療施設勤務医師数	94	97	95	1	1%	3	3%	-2	-2%	
人口10万対	147.9	178.3	209.1	61.2	41%	30.4	21%	30.8	17%	
男性医師数	82	86	80	-2	-2%	4	5%	-6	-7%	
人口10万対	129.1	158.1	176.1	47.0	36%	29.0	22%	18.0	11%	
女性医師数	12	10	12	0	0%	-2	-17%	2	20%	
人口10万対	18.9	18.4	26.4	7.5	40%	-0.5	-3%	8.0	44%	
病院勤務医師数	61	65	67	6	10%	4	7%	2	3%	
人口10万対	96.0	119.5	147.5	51.5	54%	23.5	24%	28.0	23%	
診療所勤務医師数	33	21	11	-22	-67%	-12	-36%	-10	-48%	
人口10万対	51.9	38.6	24.2	-27.7	-53%	-13.3	-26%	-14.4	-37%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	21	22	22	1	5%	1	5%	0	0%
	35-49歳	24	25	27	3	13%	1	4%	2	8%
	50-64歳	27	18	16	-11	-41%	-9	-33%	-2	-11%
	65歳以上	22	32	30	8	36%	10	45%	-2	-6%
	75歳以上(再掲)	8	11	14	6	75%	3	38%	3	27%
男性	24-34歳	15	16	12	-3	-20%	1	7%	-4	-25%
	35-49歳	22	24	27	5	23%	2	9%	3	13%
	50-64歳	26	18	15	-11	-42%	-8	-31%	-3	-17%
	65歳以上	19	28	26	7	37%	9	47%	-2	-7%
	75歳以上(再掲)	6	9	11	5	83%	3	50%	2	22%
女性	24-34歳	6	6	10	4	67%	0	0%	4	67%
	35-49歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	65歳以上	3	2	0	-3	-100%	-1	-33%	-2	-100%
	75歳以上(再掲)	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
病院	24-34歳	21	22	22	1	5%	1	5%	0	0%
	35-49歳	21	23	24	3	14%	2	10%	1	4%
	50-64歳	14	13	14	0	0%	-1	-7%	1	8%
	65歳以上	5	7	7	2	40%	2	40%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	50-64歳	13	5	1	-12	-92%	-8	-62%	-4	-80%
	65歳以上	17	16	10	-7	-41%	-1	-6%	-6	-38%
	75歳以上(再掲)	8	8	8	0	0%	0	0%	0	0%
	85歳以上(再掲)	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

釜石医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は19,187人(-28%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は17人(-20%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は144人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は12%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

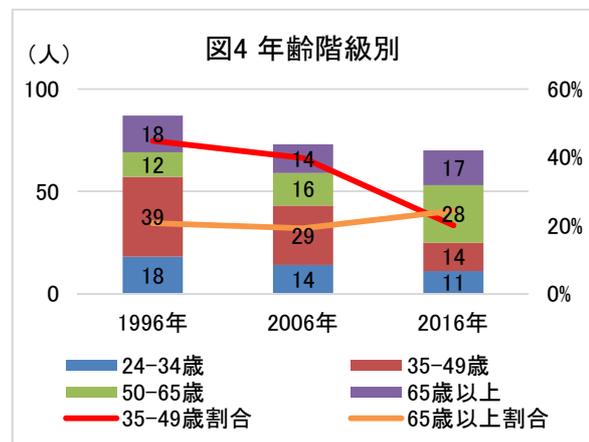
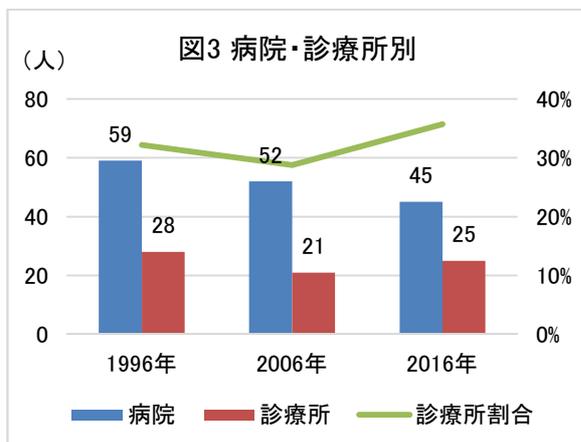
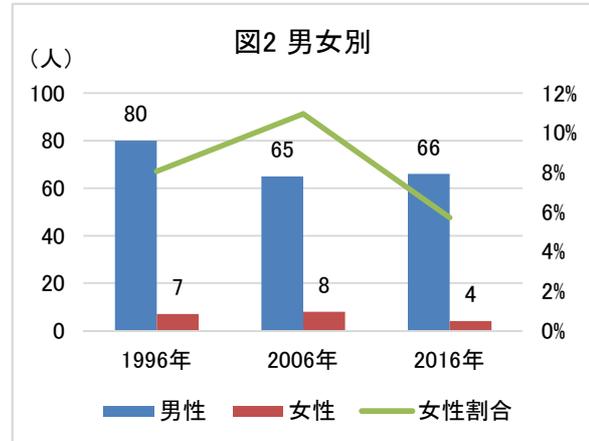
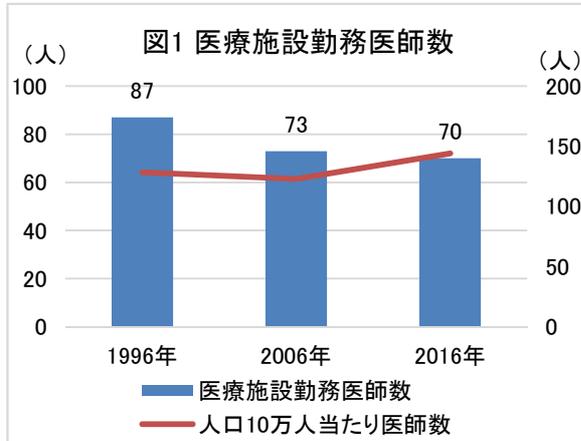
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて14人(-18%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(-43%)減り、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は6%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて14人(-24%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(-11%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は36%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は25人(-64%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて1人(-6%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年21%、2016年24%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

釜石医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	67,748	59,503	48,561	-19,187	-28%	-8,245	-12%	-10,942	-18%	
総医師数	89	76	73	-16	-18%	-13	-15%	-3	-4%	
人口10万対	131.4	127.7	150.3	19.0	14%	-3.6	-3%	22.6	18%	
医療施設勤務医師数	87	73	70	-17	-20%	-14	-16%	-3	-4%	
人口10万対	128.4	122.7	144.1	15.7	12%	-5.7	-4%	21.5	17%	
男性医師数	80	65	66	-14	-18%	-15	-19%	1	2%	
人口10万対	118.1	109.2	135.9	17.8	15%	-8.8	-7%	26.7	24%	
女性医師数	7	8	4	-3	-43%	1	14%	-4	-50%	
人口10万対	10.3	13.4	8.2	-2.1	-20%	3.1	30%	-5.2	-39%	
病院勤務医師数	59	52	45	-14	-24%	-7	-12%	-7	-13%	
人口10万対	87.1	87.4	92.7	5.6	6%	0.3	0%	5.3	6%	
診療所勤務医師数	28	21	25	-3	-11%	-7	-25%	4	19%	
人口10万対	41.3	35.3	51.5	10.2	25%	-6.0	-15%	16.2	46%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.6	49.6	54.2	6.6	14%	2.0	4%	4.5	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	18	14	11	-7	-39%	-4	-22%	-3	-21%
	35-49歳	39	29	14	-25	-64%	-10	-26%	-15	-52%
	50-64歳	12	16	28	16	133%	4	33%	12	75%
	65歳以上	18	14	17	-1	-6%	-4	-22%	3	21%
	75歳以上(再掲)	2	9	3	1	50%	7	350%	-6	-67%
男性	24-34歳	15	10	11	-4	-27%	-5	-33%	1	10%
	35-49歳	37	28	13	-24	-65%	-9	-24%	-15	-54%
	50-64歳	11	14	27	16	145%	3	27%	13	93%
	65歳以上	17	13	15	-2	-12%	-4	-24%	2	15%
	75歳以上(再掲)	2	9	3	1	50%	7	350%	-6	-67%
女性	24-34歳	3	4	0	-3	-100%	1	33%	-4	-100%
	35-49歳	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%
	50-64歳	1	2	1	0	0%	1	100%	-1	-50%
	65歳以上	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	18	14	10	-8	-44%	-4	-22%	-4	-29%
	35-49歳	33	27	11	-22	-67%	-6	-18%	-16	-59%
	50-64歳	4	8	15	11	275%	4	100%	7	88%
	65歳以上	4	3	9	5	125%	-1	-25%	6	200%
	75歳以上(再掲)	0	2	0	0		2		-2	-100%
診療所	24-34歳	0	0	1	1		0		1	
	35-49歳	6	2	3	-3	-50%	-4	-67%	1	50%
	50-64歳	8	8	13	5	63%	0	0%	5	63%
	65歳以上	14	11	8	-6	-43%	-3	-21%	-3	-27%
	75歳以上(再掲)	2	7	3	1	50%	5	250%	-4	-57%
	85歳以上(再掲)	0	0	2	2		0		2	

釜石医療圏

＜医師数の推移＞

釜石医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、リハビリテーション科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	87	128.4	43	73	122.7	40	70	144.1	39	-17	-20%	15.7	12%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	33	48.7	42	26	43.7	38	35	72.1	44	2	6%	23.4	48%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	8	11.8	52	7	11.8	51	4	8.2	41	-4	-50%	-3.6	-30%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	2	3.0	37	4	6.7	43	4	8.2	43	2	100%	5.3	179%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	12	17.7	47	10	16.8	48	6	12.4	41	-6	-50%	-5.4	-30%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	1	1.7	48	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	5.9	56	4	6.7	58	2	4.1	44	-2	-50%	-1.8	-30%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	7	10.3	44	5	8.4	37	5	10.3	38	-2	-29%	-0.0	0%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	1.5	54	0	0.0	39	0	0.0	37	-1	-100%	-1.5	-100%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	3.0	43	1	1.7	36	0	0.0	30	-2	-100%	-3.0	-100%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	4	5.9	44	2	3.4	35	3	6.2	40	-1	-25%	0.3	5%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	3	4.4	43	1	1.7	33	1	2.1	33	-2	-67%	-2.4	-53%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	4.4	51	3	5.0	51	2	4.1	44	-1	-33%	-0.3	-7%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	6	8.9	48	4	6.7	44	1	2.1	32	-5	-83%	-6.8	-77%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	1.5	60	2	3.4	66	2	4.1	64	1	100%	2.6	179%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	1	2.1	42	1		2.1	
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	1	2.1	39	1		2.1	
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0		0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				3	5.0	43	3	6.2	43	3	0%	1.1	23%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.5	43	0	0.0	40	0	0.0	37	-1	-100%	-1.5	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

釜石医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は15,831人(-33%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は7人(-10%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は192人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

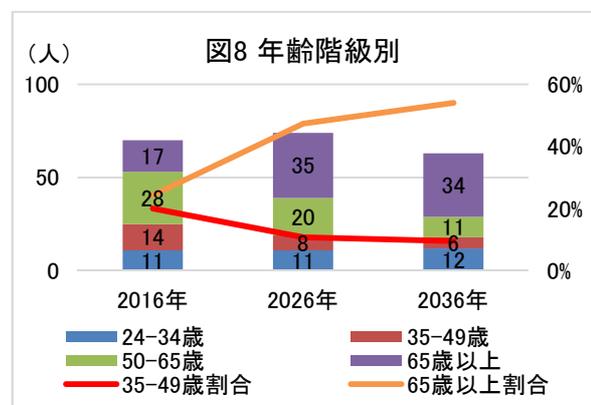
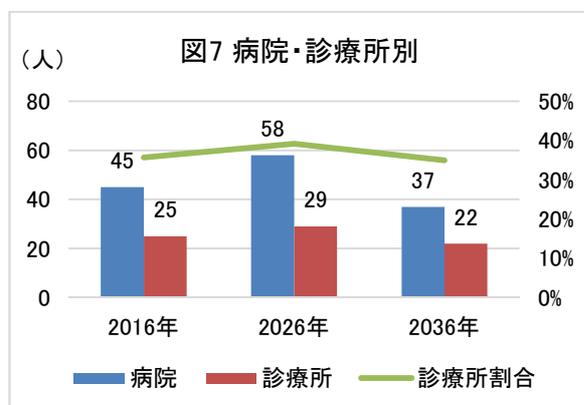
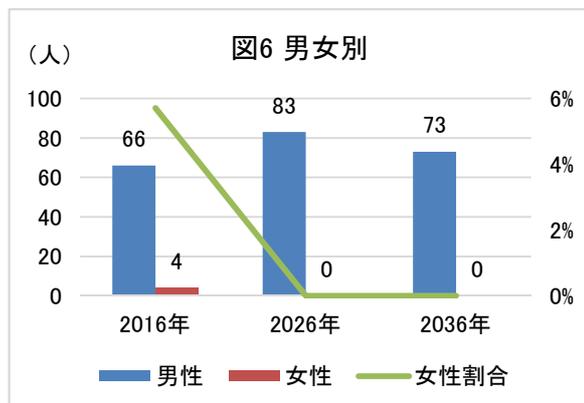
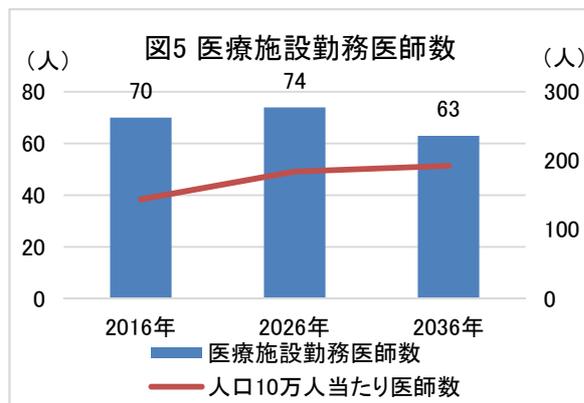
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて7人(11%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に4人(-100%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は0%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて8人(-18%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(-12%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は35%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は8人(-57%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて17人(100%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年24%、2036年54%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



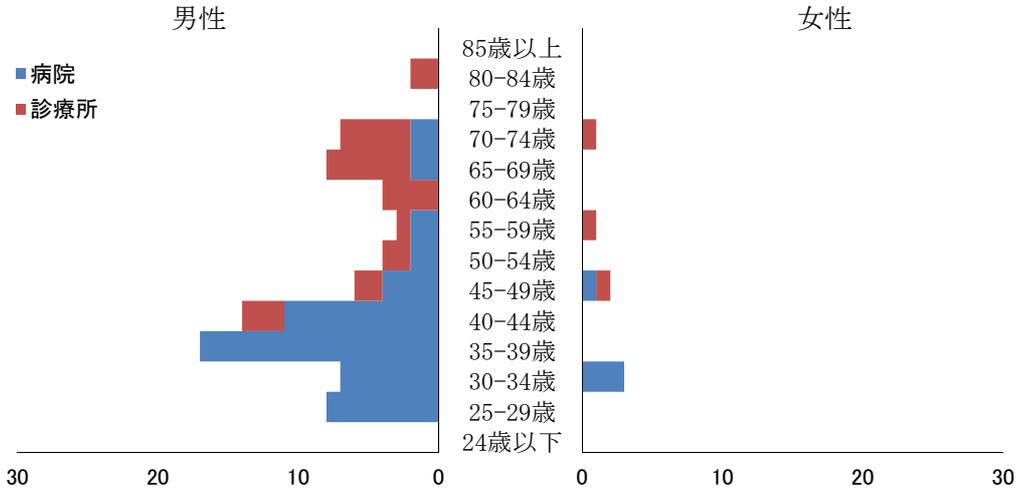
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

釜石医療圏

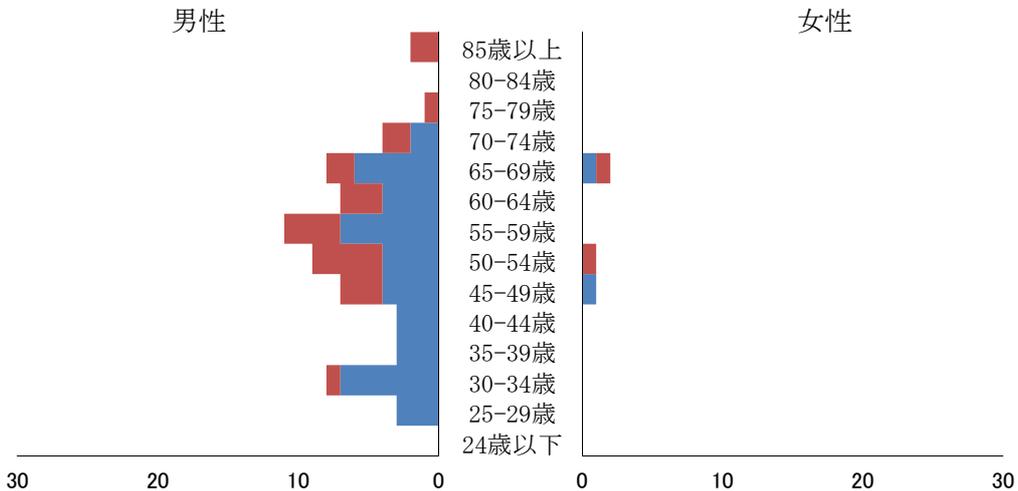
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

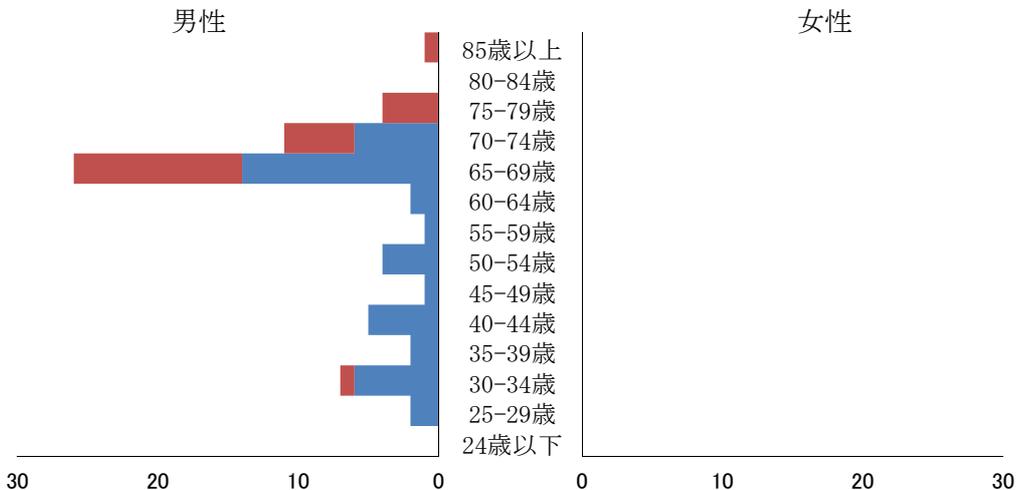
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

釜石医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	48,561	40,140	32,730	-15,831	-33%	-8,421	-17%	-7,410	-18%	
医療施設勤務医師数	70	74	63	-7	-10%	4	6%	-11	-15%	
人口10万対	144.1	184.4	192.5	48.3	34%	40.2	28%	8.1	4%	
男性医師数	66	83	73	7	11%	17	26%	-10	-12%	
人口10万対	135.9	206.8	223.0	87.1	64%	70.9	52%	16.3	8%	
女性医師数	4	0	0	-4	-100%	-4	-100%	0		
人口10万対	8.2	0.0	0.0	-8.2	-100%	-8.2	-100%	0.0		
病院勤務医師数	45	58	37	-8	-18%	13	29%	-21	-36%	
人口10万対	92.7	144.5	113.0	20.4	22%	51.8	56%	-31.4	-22%	
診療所勤務医師数	25	29	22	-3	-12%	4	16%	-7	-24%	
人口10万対	51.5	72.2	67.2	15.7	31%	20.8	40%	-5.0	-7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	11	11	12	1	9%	0	0%	1	9%
	35-49歳	14	8	6	-8	-57%	-6	-43%	-2	-25%
	50-64歳	28	20	11	-17	-61%	-8	-29%	-9	-45%
	65歳以上	17	35	34	17	100%	18	106%	-1	-3%
	75歳以上(再掲)	3	4	8	5	167%	1	33%	4	100%
男性	24-34歳	11	11	8	-3	-27%	0	0%	-3	-27%
	35-49歳	13	11	9	-4	-31%	-2	-15%	-2	-18%
	50-64歳	27	18	13	-14	-52%	-9	-33%	-5	-28%
	65歳以上	15	43	43	28	187%	28	187%	0	0%
	75歳以上(再掲)	3	5	16	13	433%	2	67%	11	220%
女性	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	50-64歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	65歳以上	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	10	10	11	1	10%	0	0%	1	10%
	35-49歳	11	7	6	-5	-45%	-4	-36%	-1	-14%
	50-64歳	15	8	4	-11	-73%	-7	-47%	-4	-50%
	65歳以上	9	33	16	7	78%	24	267%	-17	-52%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	50-64歳	13	18	0	-13	-100%	5	38%	-18	-100%
	65歳以上	8	10	21	13	163%	2	25%	11	110%
	75歳以上(再掲)	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	85歳以上(再掲)	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宮古医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は24,482人(-22%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は21人(-18%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は108人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は5%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

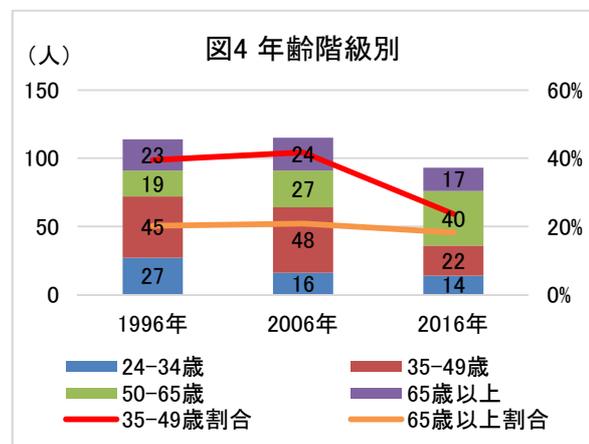
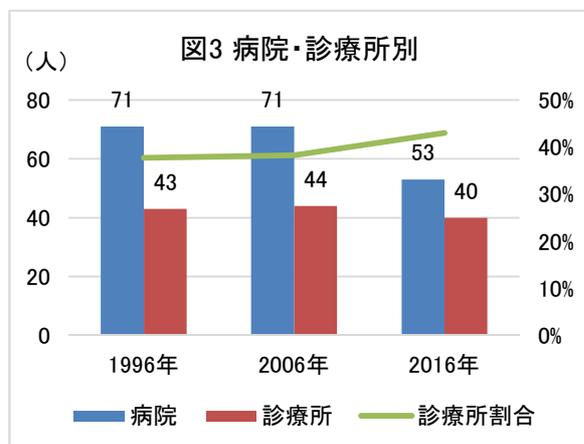
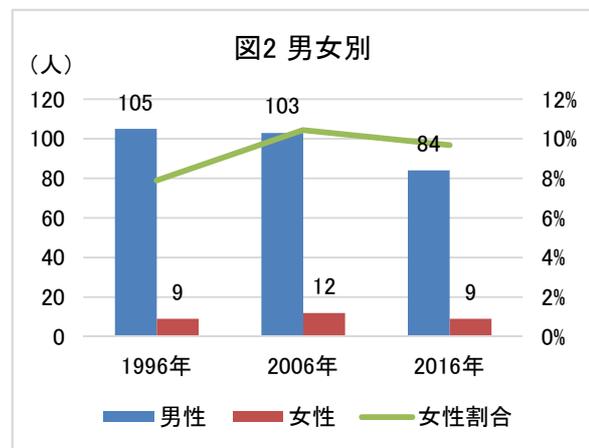
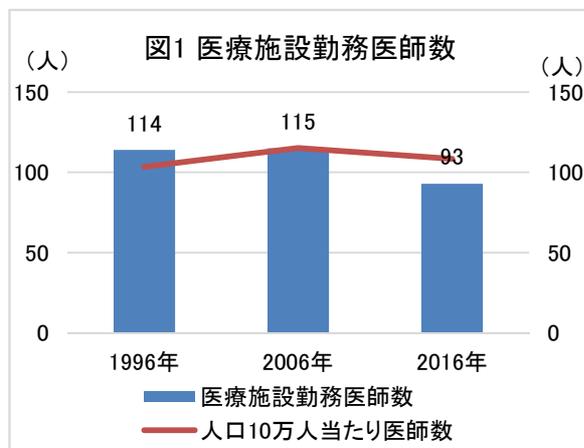
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて21人(-20%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は10%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて18人(-25%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(-7%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は43%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は23人(-51%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて6人(-26%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年20%、2016年18%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

宮古医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	110,291	99,885	85,809	-24,482	-22%	-10,406	-9%	-14,076	-14%	
総医師数	117	119	100	-17	-15%	2	2%	-19	-16%	
人口10万対	106.1	119.1	116.5	10.5	10%	13.1	12%	-2.6	-2%	
医療施設勤務医師数	114	115	93	-21	-18%	1	1%	-22	-19%	
人口10万対	103.4	115.1	108.4	5.0	5%	11.8	11%	-6.8	-6%	
男性医師数	105	103	84	-21	-20%	-2	-2%	-19	-18%	
人口10万対	95.2	103.1	97.9	2.7	3%	7.9	8%	-5.2	-5%	
女性医師数	9	12	9	0	0%	3	33%	-3	-25%	
人口10万対	8.2	12.0	10.5	2.3	29%	3.9	47%	-1.5	-13%	
病院勤務医師数	71	71	53	-18	-25%	0	0%	-18	-25%	
人口10万対	64.4	71.1	61.8	-2.6	-4%	6.7	10%	-9.3	-13%	
診療所勤務医師数	43	44	40	-3	-7%	1	2%	-4	-9%	
人口10万対	39.0	44.1	46.6	7.6	20%	5.1	13%	2.6	6%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.7	50.9	53.1	5.5	12%	3.2	7%	2.3	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	27	16	14	-13	-48%	-11	-41%	-2	-13%
	35-49歳	45	48	22	-23	-51%	3	7%	-26	-54%
	50-64歳	19	27	40	21	111%	8	42%	13	48%
	65歳以上	23	24	17	-6	-26%	1	4%	-7	-29%
	75歳以上(再掲)	1	13	8	7	700%	12	1200%	-5	-38%
男性	24-34歳	25	14	12	-13	-52%	-11	-44%	-2	-14%
	35-49歳	43	43	20	-23	-53%	0	0%	-23	-53%
	50-64歳	17	26	37	20	118%	9	53%	11	42%
	65歳以上	20	20	15	-5	-25%	0	0%	-5	-25%
	75歳以上(再掲)	1	11	6	5	500%	10	1000%	-5	-45%
女性	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	2	5	2	0	0%	3	150%	-3	-60%
	50-64歳	2	1	3	1	50%	-1	-50%	2	200%
	65歳以上	3	4	2	-1	-33%	1	33%	-2	-50%
	75歳以上(再掲)	0	2	2	2		2		0	0%
病院	24-34歳	24	15	13	-11	-46%	-9	-38%	-2	-13%
	35-49歳	31	37	17	-14	-45%	6	19%	-20	-54%
	50-64歳	8	10	19	11	138%	2	25%	9	90%
	65歳以上	8	9	4	-4	-50%	1	13%	-5	-56%
	75歳以上(再掲)	1	5	2	1	100%	4	400%	-3	-60%
診療所	24-34歳	3	1	1	-2	-67%	-2	-67%	0	0%
	35-49歳	14	11	5	-9	-64%	-3	-21%	-6	-55%
	50-64歳	11	17	21	10	91%	6	55%	4	24%
	65歳以上	15	15	13	-2	-13%	0	0%	-2	-13%
	75歳以上(再掲)	0	8	6	6		8		-2	-25%
	85歳以上(再掲)	0	0	1	1		0		1	

宮古医療圏

＜医師数の推移＞

宮古医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、リハビリテーション科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	114	103.4	40	115	115.1	39	93	108.4	35	-21	-18%	5.0	5%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	55	49.9	42	52	52.1	41	36	42.0	35	-19	-35%	-7.9	-16%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	4	3.6	34	5	5.0	35	6	7.0	38	2	50%	3.4	93%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	7	6.3	46	7	7.0	44	7	8.2	42	0	0%	1.8	29%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	12	10.9	39	12	12.0	41	8	9.3	37	-4	-33%	-1.6	-14%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	0.9	45	0	0.0	38	1	1.2	43	0	0%	0.3	29%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	3.6	47	4	4.0	46	3	3.5	41	-1	-25%	-0.1	-4%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	5	4.5	33	6	6.0	32	6	7.0	31	1	20%	2.5	54%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	1.0	46	1	1.2	44	1	100%	1.2	100%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	1	0.9	37	1	1.0	34	1	1.2	33	0	0%	0.3	29%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	4	3.6	39	4	4.0	36	5	5.8	39	1	25%	2.2	61%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	4.5	43	1	1.0	31	1	1.2	30	-4	-80%	-3.4	-74%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	5	4.5	52	4	4.0	46	4	4.7	46	-1	-20%	0.1	3%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	7	6.3	42	6	6.0	42	5	5.8	40	-2	-29%	-0.5	-8%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.9	53	1	1.0	46	2	2.3	52	1	100%	1.4	157%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	1.8	45	2	2.0	44	2	2.3	42	0	0%	0.5	29%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	1	1.0	38	0	0.0	34	0	0%	0.0	0%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				8	8.0	46	5	5.8	42	5	-38%	-2.2	-27%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.9	42	0	0.0	40	0	0.0	37	-1	-100%	-0.9	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

宮古医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は26,690人(-31%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は35人(-38%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は98人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-9%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

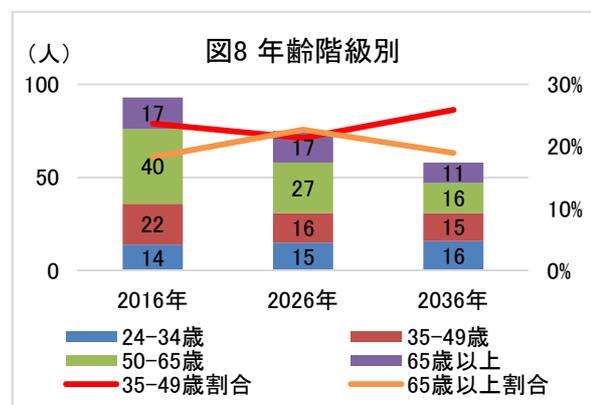
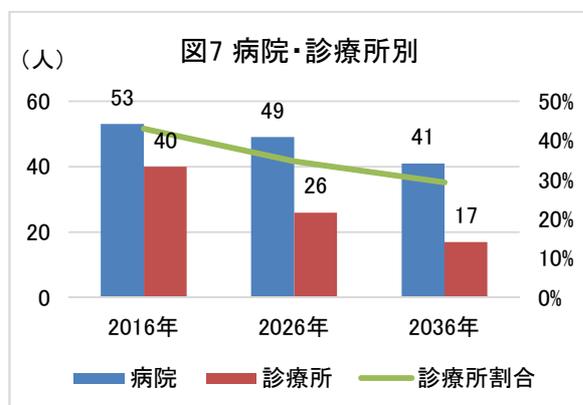
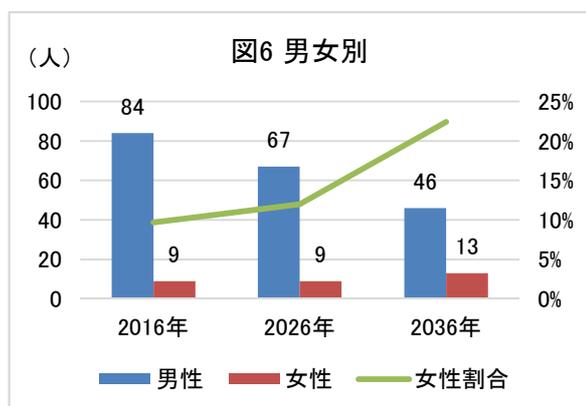
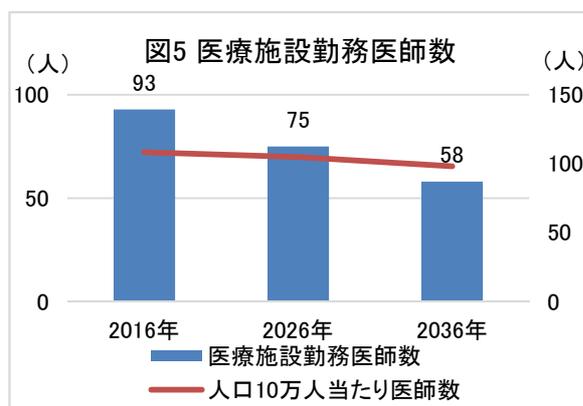
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて38人(-45%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に4人(44%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は22%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて12人(-23%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に23人(-58%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は29%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は7人(-32%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて6人(-35%)減り、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年19%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



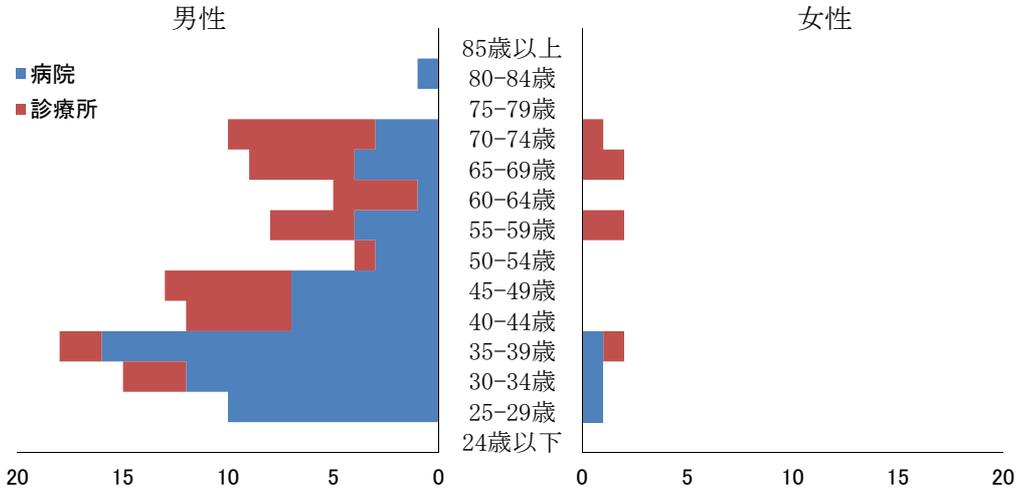
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宮古医療圏

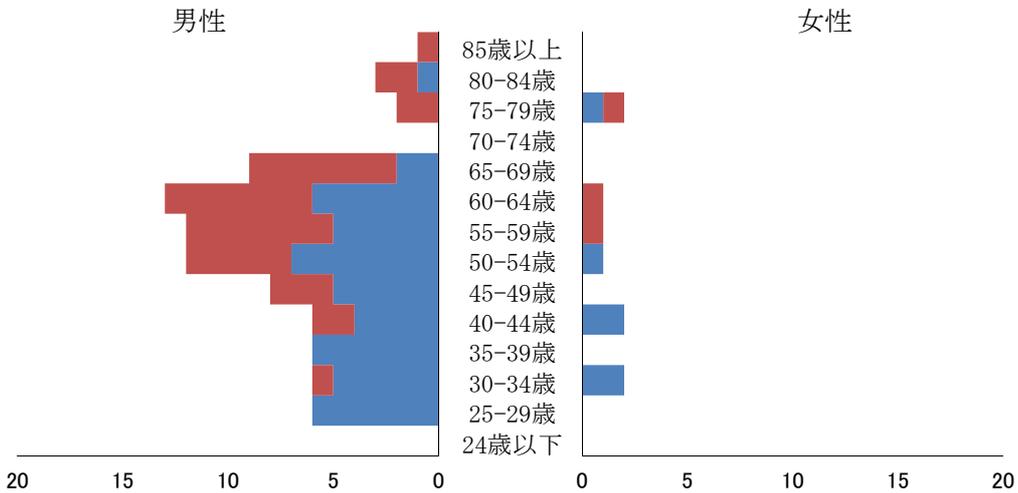
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

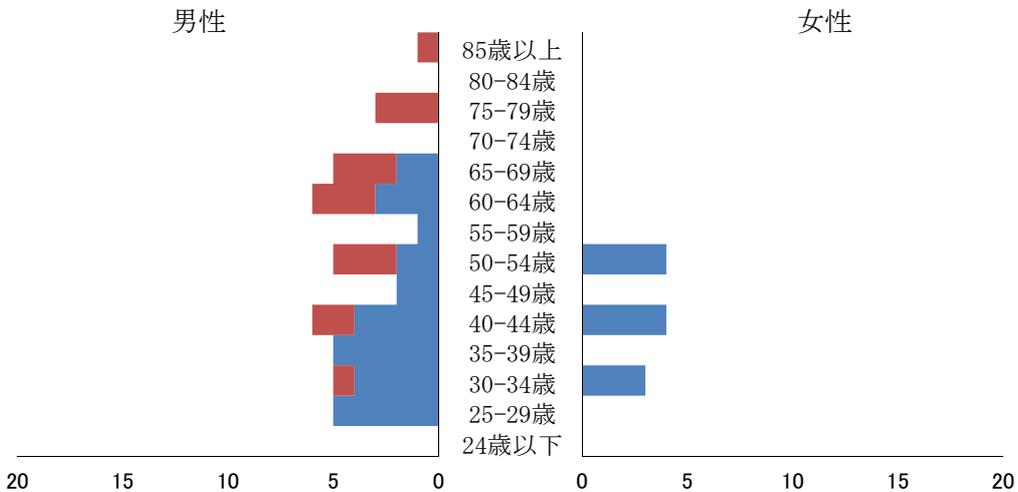
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

宮古医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	85,809	71,507	59,119	-26,690	-31%	-14,302	-17%	-12,388	-17%	
医療施設勤務医師数	93	75	58	-35	-38%	-18	-19%	-17	-23%	
人口10万対	108.4	104.9	98.1	-10.3	-9%	-3.5	-3%	-6.8	-6%	
男性医師数	84	67	46	-38	-45%	-17	-20%	-21	-31%	
人口10万対	97.9	93.7	77.8	-20.1	-21%	-4.2	-4%	-15.9	-17%	
女性医師数	9	9	13	4	44%	0	0%	4	44%	
人口10万対	10.5	12.6	22.0	11.5	110%	2.1	20%	9.4	75%	
病院勤務医師数	53	49	41	-12	-23%	-4	-8%	-8	-16%	
人口10万対	61.8	68.5	69.4	7.6	12%	6.8	11%	0.8	1%	
診療所勤務医師数	40	26	17	-23	-58%	-14	-35%	-9	-35%	
人口10万対	46.6	36.4	28.8	-17.9	-38%	-10.3	-22%	-7.6	-21%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	14	15	16	2	14%	1	7%	1	7%
	35-49歳	22	16	15	-7	-32%	-6	-27%	-1	-6%
	50-64歳	40	27	16	-24	-60%	-13	-33%	-11	-41%
	65歳以上	17	17	11	-6	-35%	0	0%	-6	-35%
	75歳以上(再掲)	8	6	6	-2	-25%	-2	-25%	0	0%
男性	24-34歳	12	13	10	-2	-17%	1	8%	-3	-23%
	35-49歳	20	15	14	-6	-30%	-5	-25%	-1	-7%
	50-64歳	37	24	13	-24	-65%	-13	-35%	-11	-46%
	65歳以上	15	15	9	-6	-40%	0	0%	-6	-40%
	75歳以上(再掲)	6	5	4	-2	-33%	-1	-17%	-1	-20%
女性	24-34歳	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%
	35-49歳	2	4	4	2	100%	2	100%	0	0%
	50-64歳	3	3	6	3	100%	0	0%	3	100%
	65歳以上	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
病院	24-34歳	13	14	15	2	15%	1	8%	1	7%
	35-49歳	17	13	12	-5	-29%	-4	-24%	-1	-8%
	50-64歳	19	17	9	-10	-53%	-2	-11%	-8	-47%
	65歳以上	4	5	5	1	25%	1	25%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	2	3	1	50%	0	0%	1	50%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	5	2	2	-3	-60%	-3	-60%	0	0%
	50-64歳	21	11	6	-15	-71%	-10	-48%	-5	-45%
	65歳以上	13	12	8	-5	-38%	-1	-8%	-4	-33%
	75歳以上(再掲)	6	5	5	-1	-17%	-1	-17%	0	0%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

久慈医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は12,268人(-17%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は24人(42%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は137人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は72%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

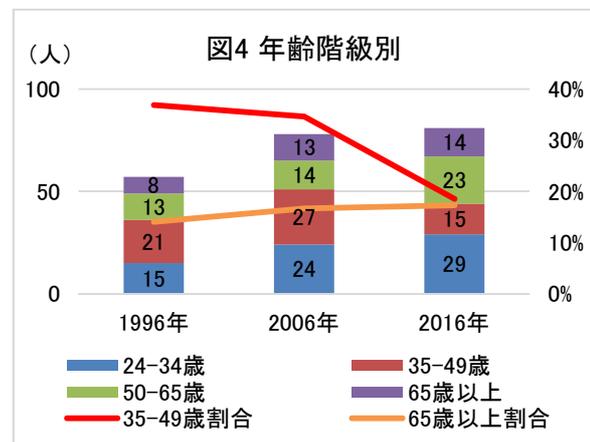
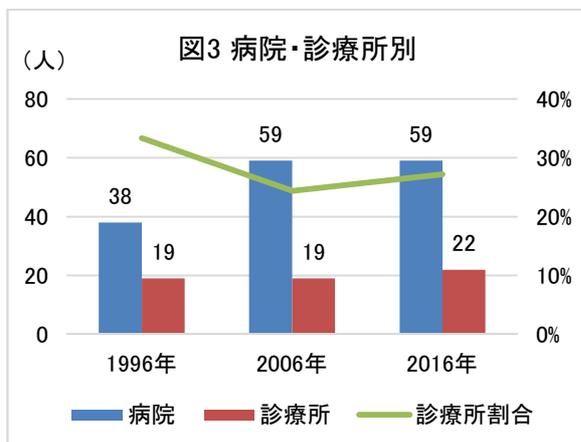
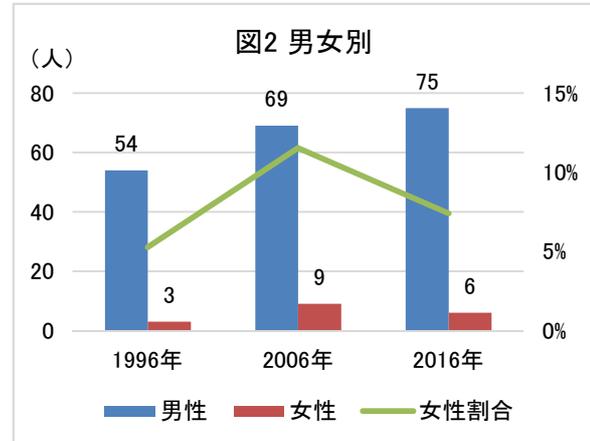
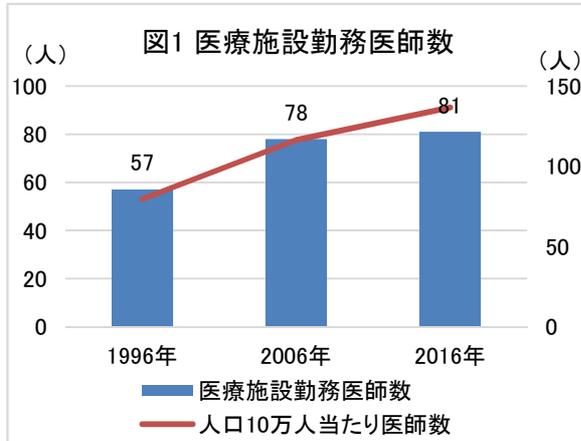
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて21人(39%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(100%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は7%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて21人(55%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(16%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は27%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は6人(-29%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて6人(75%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年14%、2016年17%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

久慈医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	71,547	67,042	59,279	-12,268	-17%	-4,505	-6%	-7,763	-12%	
総医師数	59	78	85	26	44%	19	32%	7	9%	
人口10万対	82.5	116.3	143.4	60.9	74%	33.9	41%	27.0	23%	
医療施設勤務医師数	57	78	81	24	42%	21	37%	3	4%	
人口10万対	79.7	116.3	136.6	57.0	72%	36.7	46%	20.3	17%	
男性医師数	54	69	75	21	39%	15	28%	6	9%	
人口10万対	75.5	102.9	126.5	51.0	68%	27.4	36%	23.6	23%	
女性医師数	3	9	6	3	100%	6	200%	-3	-33%	
人口10万対	4.2	13.4	10.1	5.9	141%	9.2	220%	-3.3	-25%	
病院勤務医師数	38	59	59	21	55%	21	55%	0	0%	
人口10万対	53.1	88.0	99.5	46.4	87%	34.9	66%	11.5	13%	
診療所勤務医師数	19	19	22	3	16%	0	0%	3	16%	
人口10万対	26.6	28.3	37.1	10.6	40%	1.8	7%	8.8	31%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.7	45.7	47.9	0.2	0%	-2.0	-4%	2.2	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	15	24	29	14	93%	9	60%	5	21%
	35-49歳	21	27	15	-6	-29%	6	29%	-12	-44%
	50-64歳	13	14	23	10	77%	1	8%	9	64%
	65歳以上	8	13	14	6	75%	5	63%	1	8%
	75歳以上(再掲)	3	4	8	5	167%	1	33%	4	100%
男性	24-34歳	14	18	27	13	93%	4	29%	9	50%
	35-49歳	21	25	14	-7	-33%	4	19%	-11	-44%
	50-64歳	12	14	21	9	75%	2	17%	7	50%
	65歳以上	7	12	13	6	86%	5	71%	1	8%
	75歳以上(再掲)	2	4	7	5	250%	2	100%	3	75%
女性	24-34歳	1	6	2	1	100%	5	500%	-4	-67%
	35-49歳	0	2	1	1		2		-1	-50%
	50-64歳	1	0	2	1	100%	-1	-100%	2	
	65歳以上	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
病院	24-34歳	13	24	28	15	115%	11	85%	4	17%
	35-49歳	16	22	14	-2	-13%	6	38%	-8	-36%
	50-64歳	7	8	13	6	86%	1	14%	5	63%
	65歳以上	2	5	4	2	100%	3	150%	-1	-20%
	75歳以上(再掲)	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%
診療所	24-34歳	2	0	1	-1	-50%	-2	-100%	1	
	35-49歳	5	5	1	-4	-80%	0	0%	-4	-80%
	50-64歳	6	6	10	4	67%	0	0%	4	67%
	65歳以上	6	8	10	4	67%	2	33%	2	25%
	75歳以上(再掲)	2	2	6	4	200%	0	0%	4	200%
	85歳以上(再掲)	0	0	1	1		0		1	

久慈医療圏

＜医師数の推移＞

久慈医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、臨床研修医であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、泌尿器科、産婦人科(総数)、麻酔科、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、皮膚科、眼科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	57	79.7	37	78	116.3	39	81	136.6	38	24	42%	57.0	72%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	25	34.9	38	29	43.3	38	30	50.6	38	5	20%	15.7	45%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	3	4.2	35	4	6.0	38	4	6.7	38	1	33%	2.6	61%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	4.2	40	5	7.5	45	6	10.1	46	3	100%	5.9	141%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	7	9.8	38	8	11.9	41	10	16.9	47	3	43%	7.1	72%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	2.8	43	3	4.5	48	3	5.1	47	1	50%	2.3	81%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	3	4.2	32	4	6.0	32	4	6.7	31	1	33%	2.6	61%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	1.4	53	1	1.5	50	1	1.7	48	0	0%	0.3	21%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	1	1.4	38	2	3.0	40	2	3.4	40	1	100%	2.0	141%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	1	1.4	34	1	1.5	30	2	3.4	33	1	100%	2.0	141%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	1.4	34	1	1.5	33	1	1.7	32	0	0%	0.3	21%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	2.8	44	2	3.0	42	1	1.7	35	-1	-50%	-1.1	-40%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	5	7.0	43	3	4.5	38	1	1.7	31	-4	-80%	-5.3	-76%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.5	50	0	0.0	37	0	0	0.0	0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	1	1.5	42	1	1.7	41	1	1	1.7	1.7
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	1.4	42	0	0.0	36	0	0.0	34	-1	-100%	-1.4	-100%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	1.5	51	0	0.0	38	-1	-100%	-1.5	-100%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				11	16.4	56	15	25.3	63	15	36%	8.9	54%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	2.8	46	1	1.5	43	0	0.0	37	-2	-100%	-2.8	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

久慈医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は16,501人(-28%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は3人(4%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は196人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は44%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

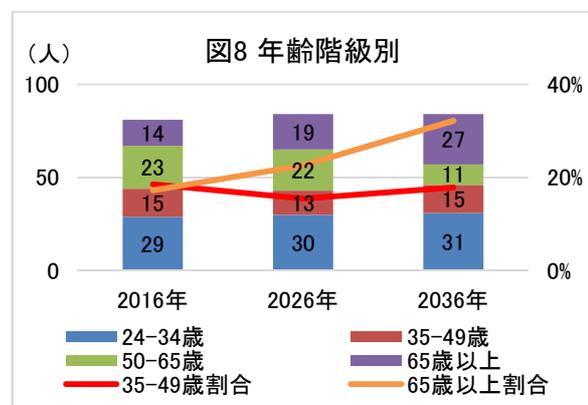
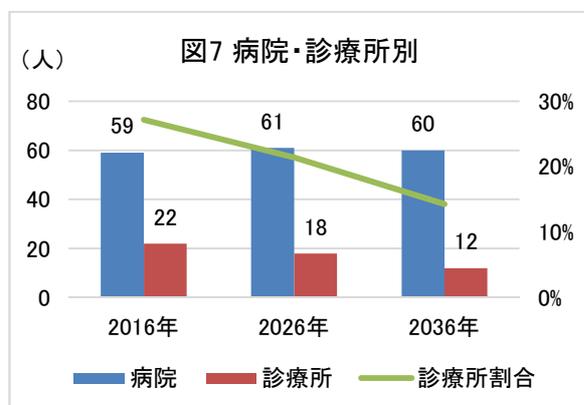
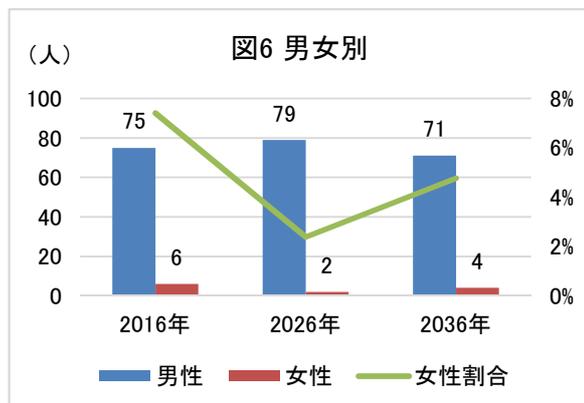
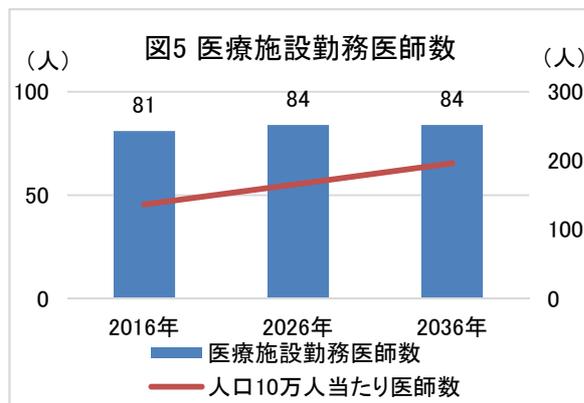
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて4人(-5%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-33%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は5%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1人(2%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に10人(-45%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は14%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は増減がなく、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて13人(93%)増え、全国平均(93%)と同程度の増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年17%、2036年32%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



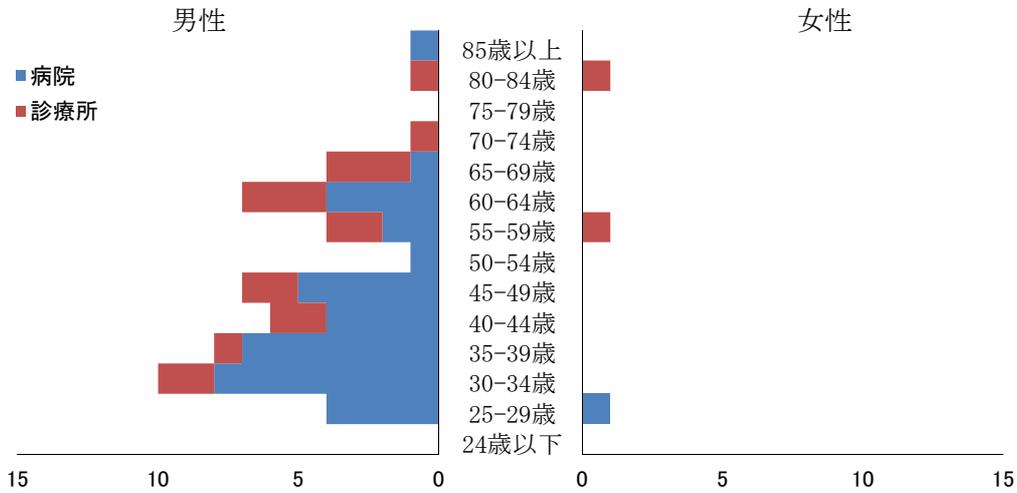
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

久慈医療圏

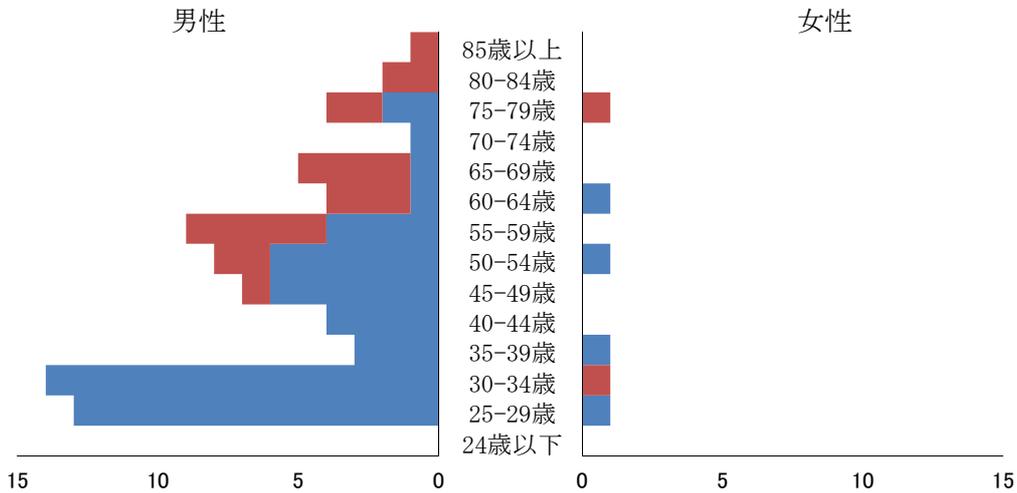
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

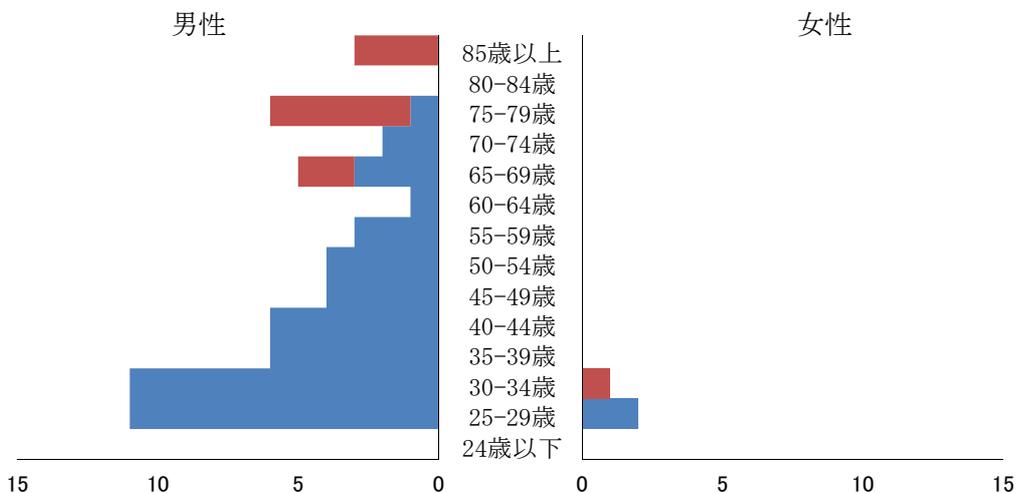
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

久慈医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	59,279	50,510	42,778	-16,501	-28%	-8,769	-15%	-7,732	-15%	
医療施設勤務医師数	81	84	84	3	4%	3	4%	0	0%	
人口10万対	136.6	166.3	196.4	59.7	44%	29.7	22%	30.1	18%	
男性医師数	75	79	71	-4	-5%	4	5%	-8	-10%	
人口10万対	126.5	156.4	166.0	39.5	31%	29.9	24%	9.6	6%	
女性医師数	6	2	4	-2	-33%	-4	-67%	2	100%	
人口10万対	10.1	4.0	9.4	-0.8	-8%	-6.2	-61%	5.4	136%	
病院勤務医師数	59	61	60	1	2%	2	3%	-1	-2%	
人口10万対	99.5	120.8	140.3	40.7	41%	21.2	21%	19.5	16%	
診療所勤務医師数	22	18	12	-10	-45%	-4	-18%	-6	-33%	
人口10万対	37.1	35.6	28.1	-9.1	-24%	-1.5	-4%	-7.6	-21%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	29	30	31	2	7%	1	3%	1	3%
	35-49歳	15	13	15	0	0%	-2	-13%	2	15%
	50-64歳	23	22	11	-12	-52%	-1	-4%	-11	-50%
	65歳以上	14	19	27	13	93%	5	36%	8	42%
	75歳以上(再掲)	8	8	11	3	38%	0	0%	3	38%
男性	24-34歳	27	28	22	-5	-19%	1	4%	-6	-21%
	35-49歳	14	14	16	2	14%	0	0%	2	14%
	50-64歳	21	19	10	-11	-52%	-2	-10%	-9	-47%
	65歳以上	13	18	23	10	77%	5	38%	5	28%
	75歳以上(再掲)	7	8	10	3	43%	1	14%	2	25%
女性	24-34歳	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
	35-49歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	50-64歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	28	29	30	2	7%	1	4%	1	3%
	35-49歳	14	13	14	0	0%	-1	-7%	1	8%
	50-64歳	13	15	8	-5	-38%	2	15%	-7	-47%
	65歳以上	4	4	8	4	100%	0	0%	4	100%
	75歳以上(再掲)	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	50-64歳	10	5	0	-10	-100%	-5	-50%	-5	-100%
	65歳以上	10	12	11	1	10%	2	20%	-1	-8%
	75歳以上(再掲)	6	7	9	3	50%	1	17%	2	29%
	85歳以上(再掲)	1	3	4	3	300%	2	200%	1	33%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

二戸医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は15,950人(-22%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は7人(10%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は136人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は42%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

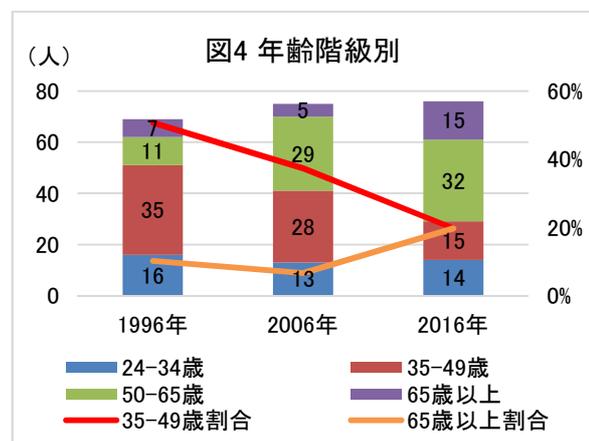
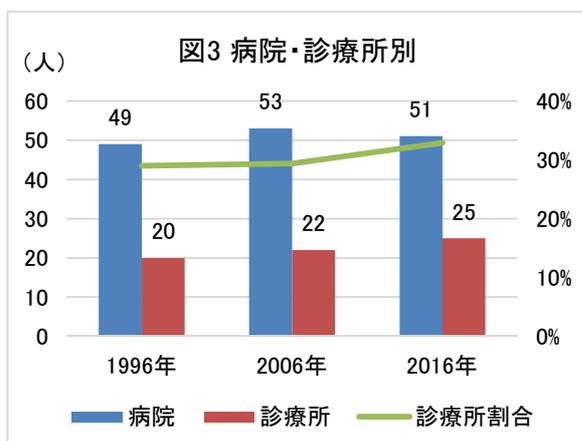
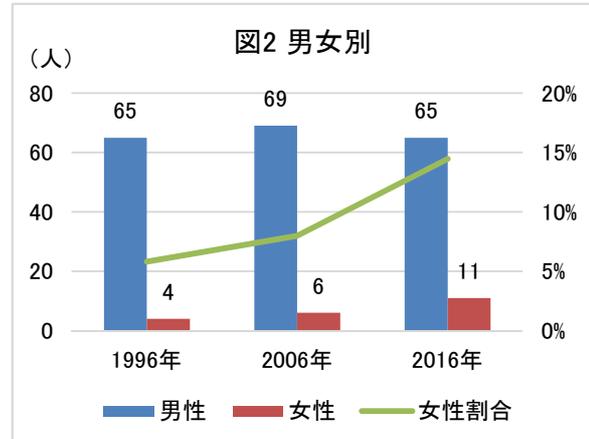
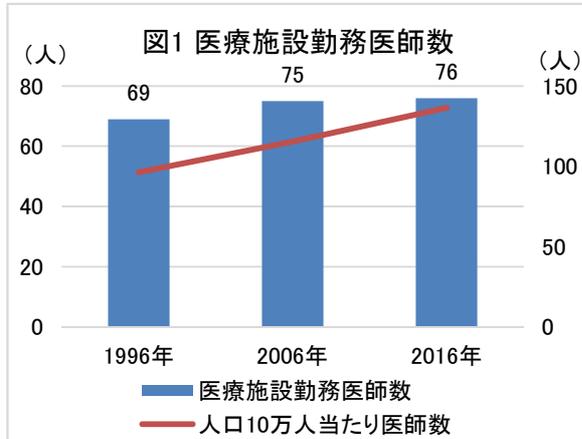
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて増減がなく、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に7人(175%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて2人(4%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(25%)増え、全国平均(25%)と同程度の増加率である。2016年の診療所医師割合は33%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は20人(-57%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて8人(114%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年10%、2016年20%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

二戸医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	71,678	64,997	55,728	-15,950	-22%	-6,681	-9%	-9,269	-14%	
総医師数	72	80	80	8	11%	8	11%	0	0%	
人口10万対	100.4	123.1	143.6	43.1	43%	22.6	23%	20.5	17%	
医療施設勤務医師数	69	75	76	7	10%	6	9%	1	1%	
人口10万対	96.3	115.4	136.4	40.1	42%	19.1	20%	21.0	18%	
男性医師数	65	69	65	0	0%	4	6%	-4	-6%	
人口10万対	90.7	106.2	116.6	26.0	29%	15.5	17%	10.5	10%	
女性医師数	4	6	11	7	175%	2	50%	5	83%	
人口10万対	5.6	9.2	19.7	14.2	254%	3.7	65%	10.5	114%	
病院勤務医師数	49	53	51	2	4%	4	8%	-2	-4%	
人口10万対	68.4	81.5	91.5	23.2	34%	13.2	19%	10.0	12%	
診療所勤務医師数	20	22	25	5	25%	2	10%	3	14%	
人口10万対	27.9	33.8	44.9	17.0	61%	5.9	21%	11.0	33%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.1	47.8	52.2	7.1	16%	2.7	6%	4.4	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	16	13	14	-2	-13%	-3	-19%	1	8%
	35-49歳	35	28	15	-20	-57%	-7	-20%	-13	-46%
	50-64歳	11	29	32	21	191%	18	164%	3	10%
	65歳以上	7	5	15	8	114%	-2	-29%	10	200%
	75歳以上(再掲)	1	3	4	3	300%	2	200%	1	33%
男性	24-34歳	13	11	9	-4	-31%	-2	-15%	-2	-18%
	35-49歳	35	26	12	-23	-66%	-9	-26%	-14	-54%
	50-64歳	10	27	31	21	210%	17	170%	4	15%
	65歳以上	7	5	13	6	86%	-2	-29%	8	160%
	75歳以上(再掲)	1	3	4	3	300%	2	200%	1	33%
女性	24-34歳	3	2	5	2	67%	-1	-33%	3	150%
	35-49歳	0	2	3	3		2		1	50%
	50-64歳	1	2	1	0	0%	1	100%	-1	-50%
	65歳以上	0	0	2	2		0		2	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	15	13	14	-1	-7%	-2	-13%	1	8%
	35-49歳	26	22	11	-15	-58%	-4	-15%	-11	-50%
	50-64歳	8	18	20	12	150%	10	125%	2	11%
	65歳以上	0	0	6	6		0		6	
	75歳以上(再掲)	0	0	1	1		0		1	
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	9	6	4	-5	-56%	-3	-33%	-2	-33%
	50-64歳	3	11	12	9	300%	8	267%	1	9%
	65歳以上	7	5	9	2	29%	-2	-29%	4	80%
	75歳以上(再掲)	1	3	3	2	200%	2	200%	0	0%
	85歳以上(再掲)	0	0	2	2		0		2	

二戸医療圏

＜医師数の推移＞

二戸医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、泌尿器科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、精神科、外科(総数)、整形外科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、眼科、泌尿器科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	69	96.3	39	75	115.4	39	76	136.4	38	7	10%	40.1	42%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	28	39.1	39	29	44.6	38	29	52.0	38	1	4%	13.0	33%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	6	8.4	44	4	6.2	38	5	9.0	42	-1	-17%	0.6	7%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	6	8.4	51	5	7.7	45	4	7.2	41	-2	-33%	-1.2	-14%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	8	11.2	40	9	13.8	44	6	10.8	39	-2	-25%	-0.4	-4%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	2.8	43	3	4.6	49	3	5.4	48	1	50%	2.6	93%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	4	5.6	35	4	6.2	32	3	5.4	28	-1	-25%	-0.2	-4%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	1	1.5	36	1	1.8	35	1	1	1.8	1.8
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	2	2.8	37	4	6.2	41	3	5.4	38	1	50%	2.6	93%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	2	2.8	38	2	3.1	38	2	3.6	38	0	0%	0.8	29%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	4.2	50	6	9.2	70	5	9.0	63	2	67%	4.8	114%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	6	8.4	46	4	6.2	42	6	10.8	51	0	0%	2.4	29%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	1	1.5	42	2	3.6	46	2	3.6	3.6	3.6
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	1	1.5	40	1	1.8	38	1	1.8	1.8	1.8
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				2	3.1	40	6	10.8	47	6	200%	7.7	250%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	2.8	46	0	0.0	40	0	0.0	37	-2	-100%	-2.8	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

二戸医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は15,939人(-29%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は15人(-20%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は153人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は12%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

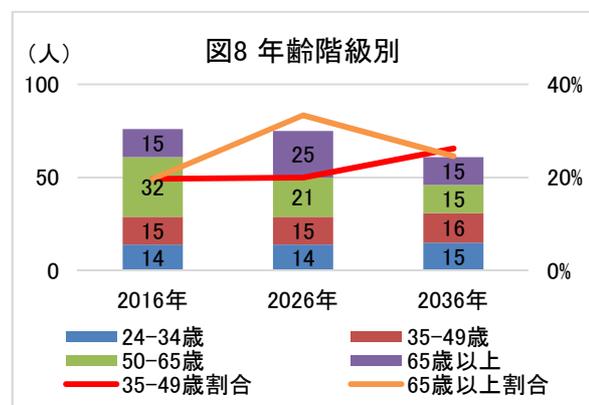
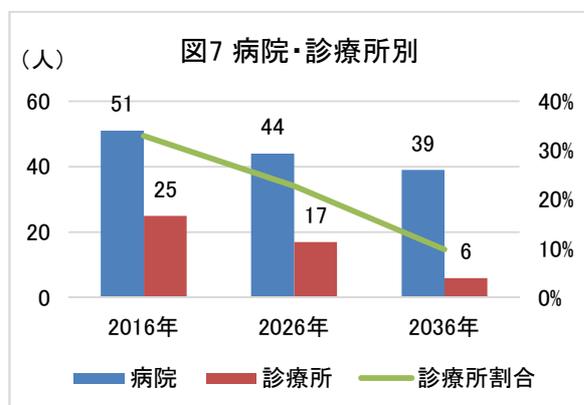
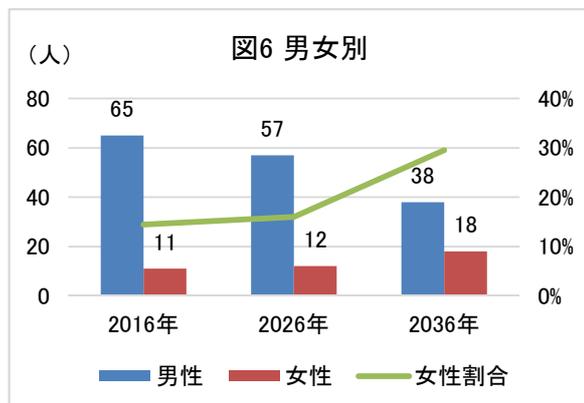
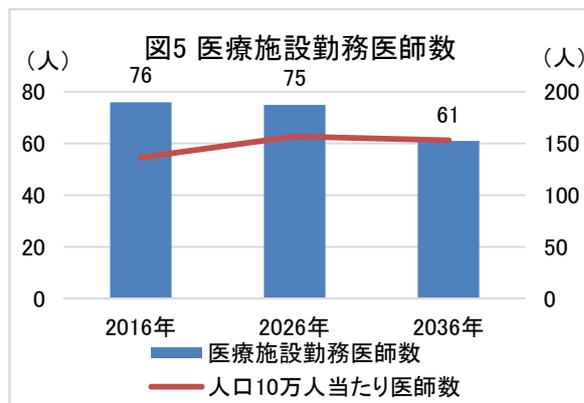
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて27人(-42%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に7人(64%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は30%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて12人(-24%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に19人(-76%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は10%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は1人(7%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて増減がなく、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年25%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



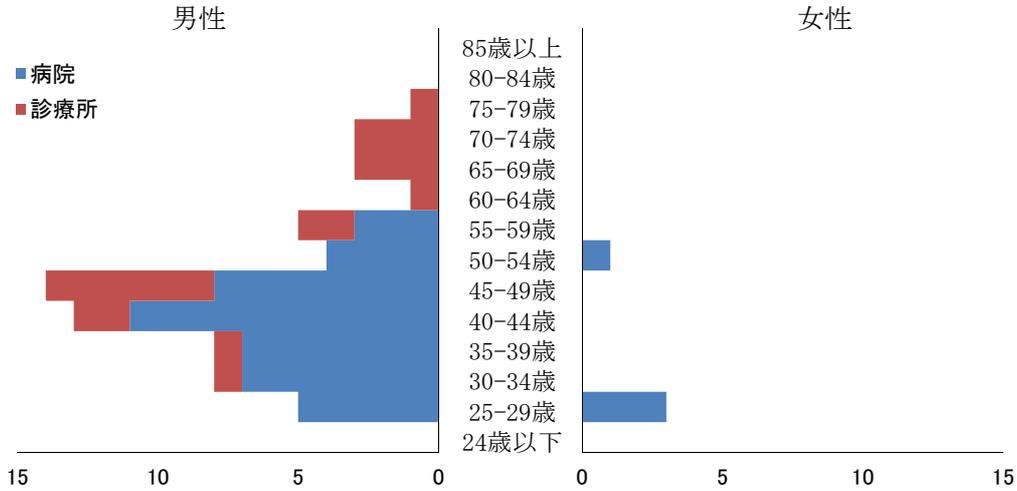
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

二戸医療圏

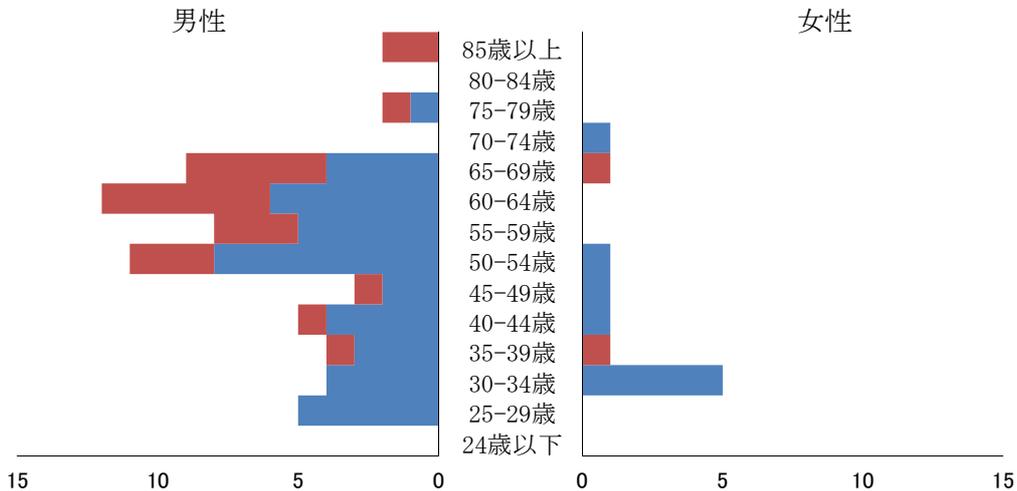
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

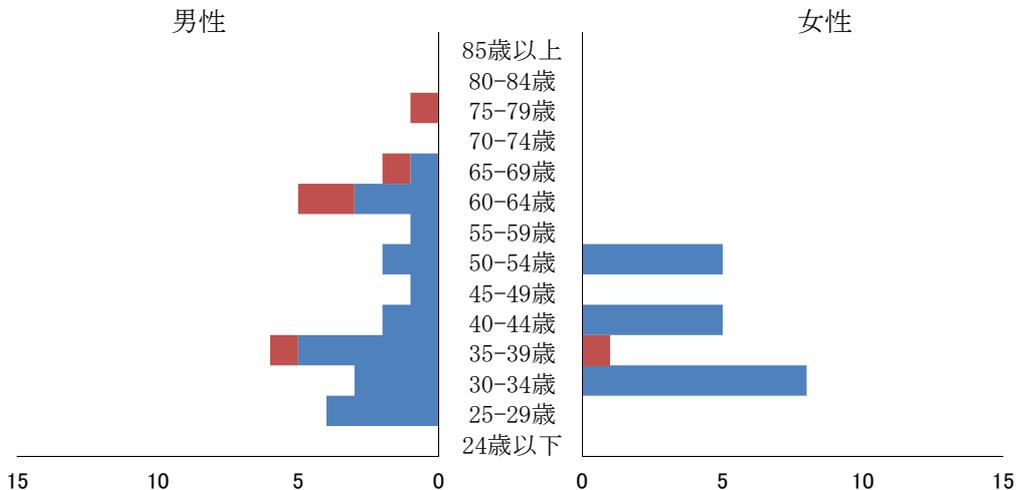
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

二戸医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	55,728	47,769	39,789	-15,939	-29%	-7,959	-14%	-7,980	-17%	
医療施設勤務医師数	76	75	61	-15	-20%	-1	-1%	-14	-19%	
人口10万対	136.4	157.0	153.3	16.9	12%	20.6	15%	-3.7	-2%	
男性医師数	65	57	38	-27	-42%	-8	-12%	-19	-33%	
人口10万対	116.6	119.3	95.5	-21.1	-18%	2.7	2%	-23.8	-20%	
女性医師数	11	12	18	7	64%	1	9%	6	50%	
人口10万対	19.7	25.1	45.2	25.5	129%	5.4	27%	20.1	80%	
病院勤務医師数	51	44	39	-12	-24%	-7	-14%	-5	-11%	
人口10万対	91.5	92.1	98.0	6.5	7%	0.6	1%	5.9	6%	
診療所勤務医師数	25	17	6	-19	-76%	-8	-32%	-11	-65%	
人口10万対	44.9	35.6	15.1	-29.8	-66%	-9.3	-21%	-20.5	-58%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	14	14	15	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	15	15	16	1	7%	0	0%	1	7%
	50-64歳	32	21	15	-17	-53%	-11	-34%	-6	-29%
	65歳以上	15	25	15	0	0%	10	67%	-10	-40%
	75歳以上(再掲)	4	13	6	2	50%	9	225%	-7	-54%
男性	24-34歳	9	9	7	-2	-22%	0	0%	-2	-22%
	35-49歳	12	12	13	1	8%	0	0%	1	8%
	50-64歳	31	18	10	-21	-68%	-13	-42%	-8	-44%
	65歳以上	13	18	8	-5	-38%	5	38%	-10	-56%
	75歳以上(再掲)	4	12	6	2	50%	8	200%	-6	-50%
女性	24-34歳	5	5	8	3	60%	0	0%	3	60%
	35-49歳	3	6	5	2	67%	3	100%	-1	-17%
	50-64歳	1	1	5	4	400%	0	0%	4	400%
	65歳以上	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	14	14	15	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	11	10	10	-1	-9%	-1	-9%	0	0%
	50-64歳	20	14	9	-11	-55%	-6	-30%	-5	-36%
	65歳以上	6	6	5	-1	-17%	0	0%	-1	-17%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	4	2	2	-2	-50%	-2	-50%	0	0%
	50-64歳	12	7	2	-10	-83%	-5	-42%	-5	-71%
	65歳以上	9	8	2	-7	-78%	-1	-11%	-6	-75%
	75歳以上(再掲)	3	5	1	-2	-67%	2	67%	-4	-80%
	85歳以上(再掲)	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)